Miele

取扱説明書

食器洗い機

G 7314 C SC

特定保守製品

お客様の安全を確保し、機器の損傷を避ける ため、本製品を初めてご使用になる前には、**必ず** この取扱説明書と設置・施工手順書を お読みください。

ja-JP HG07-W M.-Nr. 11 452 200

目次

安全上のご注意 7

安全上のご注意 8

各部の名称 15
全体図 15
操作パネル 16
ディスプレイ機能 17

環境保護のために 18

初めてお使いになる前に 19
ドアを開ける 19
ドアの閉め方 20
チャイルドロックを有効にする 20
Miele@home 21
基本設定 22
言語の設定 22
Miele@homeのセットアップ 22
時刻の設定 23
AutoDos（オートドス）を有効にする 23
乾燥仕上げ剤（リンスエイド） 25
乾燥仕上げ剤の追加 26
乾燥仕上げ剤の補充 26

環境保護のために 27
エネルギーを節約できる洗い方 27
エコフィードバック消費量表示 28

食器の入れ方 29
注意点 29
上段バスケット 31
上段バスケットの高さ調整 34
下段バスケット 35
カトラリートレイ 37
3D MultiFlexトレイの入れ方 37

洗剤 39
有効成分 39
洗剤の入れ方 40
洗剤自動投入/AutoDos（オートドス） 41
AutoDos（オートドス）を有効にする 41
パワーディスクのセット 42

目次

手動での洗剤投入 44
洗剤の入れ方 44
洗剤の投入 44

操作 46
食器洗い機の電源を入れる 46
プログラムの選択 46
プログラム所要時間の表示 47
プログラムの開始 47
プログラムの終了 48
エネルギー節約 48
食器洗い機の電源を切る 49
食器の取り出し方 49
プログラムの中断 50
プログラムのキャンセル/変更 50

追加機能 51
タイマー 51
リモートスタート を有効にする 55

プログラム早見表 56
追加プログラム 60

プログラムオプション 61
プログラムオプションの選択 61
IntenseZone（インテンスゾーン） 61
Express（エクスプレス） 61

掃除とお手入れ 62
庫内のクリーニング 62
ドアとドアパッキンのクリーニング 62
操作パネルのお手入れ 63
食器洗い機表面のクリーニング 63
AutoDos（オートドス）の清掃 64
スプレーアームの清掃 66
庫内のフィルターチェック 69
フィルターの掃除 69
排水ポンプの清掃 71

こんなとき、どうしたらいい？ 73
技術的な問題 73
エラーメッセージ 74
ドアのエラー 75

目次

給水のエラー 76
排水のエラー 77
AutoDos（オートドス）／洗剤自動投入の故障 78
スプレーアームの故障 80
一般的な問題 81
使用中の音 82
食器がきれいにならない 83

アフターサービス 86
故障の際の連絡先 86
保証条件と保証期間 86

オプション 87

設置 88
ミーレウォータープルーフシステム 88
給水 88
排水 90
電源接続 92

技術データ 93
適合宣言 93

設定 94
設定メニューを開く 94
設定の変更 94
設定メニューを閉じる 94
言語 ⚑ 95
時刻 95
AutoDos（オートドス） 96
リンスエイド 96
Miele@home 97
遠隔操作 100
リモートアップデート 100
SmartStart （国によって使用できない場合があります） 101
EcoStart 102
消費量（エコフィードバック） 104
ディスプレイの明るさ 104
音量 105
不足表示 105
オートオープン 105
洗浄プラス 106
エクストラドライ 106

目次

ソフトウェアバージョン 106
ショールームプログラム 106
工場出荷時設定 106

安全上のご注意

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。

■ 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例
禁　止（してはいけないこと） 具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。
強　制（必ずすること） 具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。
注　意（警告を含む） 具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

禁止行為	**潜在的な危険・警告・注意**
分解禁止	**感電注意**
水場、湿気の多い場所での使用禁止	**機器に損害を与える可能性のある場合**
接触禁止	**発火注意**
強制／指示	**高温注意**
電源接続に関する注意	**破裂注意**
必ずアース線を接続	

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切なご使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切な使用は、怪我や物的損害を引き起こす恐れがあります。

本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書と設置・施工手順書をよくお読みください。本取扱説明書と設置・施工手順書には、設置、安全、使用、手入れに関する重要な情報が記載されています。この情報は、怪我からお客様を保護し、製品の損傷を防ぐためのものです。

IEC スタンダード (標準) 60335-1 に従い、ミーレはお客様に対し、食器洗い機の設置に関する章と安全に関する注意や警告事項を読み、それらの指示に従うことを明示的かつ強く推奨いたします。
ミーレはこれらの指示に従わないことにより生じる損傷には責任を負いません。

本取扱説明書と設置・施工手順書は安全な場所に保管し、所有者が変わった場合には製品と共に譲渡してください。

警告

正しい用途

本製品は業務用ではありません。ご家庭での使用、またはそれに類似する職場や居住環境での使用を想定しています。

本製品は、屋外で使用することを想定していません。

本製品は、海抜 4,000 m 以上の高度での使用を想定していません。

本製品は家庭内の食器およびナイフやフォークを洗浄するためのみご使用ください。それ以外の目的で使用しないでください。

身体的、感覚的、または精神的に介護を要する方、操作経験のない方、操作方法を理解していない方が本製品を使用する場合は、安全にお使いになれるよう周囲の方が操作中に十分配慮し、操作に伴う危険について説明するようにしてください。

⚠ 警告

お子様の安全

8 歳未満のお子様は、保護者の監督がない限り、本製品に近づかないように注意してください。

8 歳以上のお子様は、本製品の使い方を理解して、安全に使用できる場合に限り、監督者なしで本製品を使用することができます。ただし、誤った操作による危険性を認識し、理解している場合に限ります。

監督者の付き添いなく、お子様が本製品の洗浄やメンテナンスをすることはできません。

食器洗い機の近くのお子様から目を離さないでください。お子様を食器洗い機で絶対に遊ばせないようにしてください。お子様が食器洗い機に閉じ込められる危険があります。

オートオープンが作動している場合（機種によって異なります）は、ドアが開く範囲に小さいお子様を近付けないようにしてください。オートオープン機能の誤作動による事故での怪我の恐れがあります。

窒息の危険があります！お子様が遊んでいる最中に、プラスチックのラップなどの梱包材に巻き込まれてしまったり、頭からかぶったりすると、窒息する恐れがあります。梱包材をお子様の近くに放置しないでください。

⚠ 警告

洗剤はお子様の手の届かないところに保管してください。洗剤は、深刻な皮膚の炎症や目の損傷の原因となります。目、口、のどの炎症や、呼吸障害を引き起こす可能性があります。このため、ドアが開いている時は、食器洗い機にお子様を近づけないようにすることが重要です。洗剤が食器洗い機に残留している可能性があります。お子様が洗剤を飲み込んだり、吸い込んだりした場合は、直ちに医療機関に相談してください。

安全上のご注意

警告

技術的安全性

不適切な設置、メンテナンス、修理により、大きな危険が生じる恐れがあります。設置、メンテナンス、修理は、認定の技術者のみが行えます。

本製品に損傷があると、安全性が損なわれるおそれがあります。本製品の使用前、特に輸送後に外観に損傷がないことを目視確認してください。製品に損傷がある場合は、絶対に使用しないでください。

本製品の電気的な安全性は、正しく接地されたときにのみ保証できます。この基本的な安全要件の遵守が最も重要です。何か問題がありそうな場合は、資格を有する電気技師に電気設備を確認してもらうようにしてください。
ミーレは不適切な接地工事または接地の欠如による問題（感電事故など）について責任を負いません。

本製品の操作の信頼性と安全性は、本製品が主電源に接続されている場合にのみ保証されます。

食器洗い機は、適切なソケットとプラグのみを使用して電源に接続するようにしてください。配線で接続しないでください。本製品の設置後いつでも電源から切断できるように、電源プラグは簡単に手が届くようにしてください。

食器洗い機との隙間が狭すぎる場合があるので、本製品の後ろに電源コンセントが隠れないようにしてください。また電源コードを傷つけたり、無理にねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、加工しないでください。食器洗い機をプラグに押し付けると、過熱し出火する危険があります。

警告

ガスレンジ、クッキングヒーターなどの調理レンジの下に食器洗い機を設置しないでください。コンロが放出する高温により、下の食器洗い機が損傷する可能性があります。同じ理由で、暖炉や通常はキッチンには存在しない、ヒーターなどの熱を発するその他の機器の隣に、食器洗い機を設置しないでください。

型式表示シールに記載されている仕様データ（定格消費電力、電圧、周波数）が、設置場所の電源と適合していることを確認してください。食器洗い機に損傷を与えないように、このデータが一致している必要があります。本製品を電源に接続する前に確認してください。ご不明な点は、資格を有する電気技師にご相談ください。

食器洗い機の設置が完了しドアの開閉バランスのスプリング調整が終わるまで、電源に接続しないでください。

ドアのメカニズムが適切に動作するまで、食器洗い機は使用できません。不適切な状態で使用すると、オートオープンが作動している間（機種によって異なります）に、危険が生じる可能性があります。
ドアのメカニズムが問題ないか以下のようにチェックすることができます：

- ドア開閉バランスのスプリングは、両側で均等に調整してください。ドアを半分（約45°の角度）開いたままにして、ドアが動かなければ、正しく調整されています。ドアが開いた角度でキープできることが重要です。
- 乾燥時間終了時にドアを開けるとドアのアシストガイドは自動でひっこみます。

警告

たこ足配線や延長コードを使用した場合、機器の安全性は保証されません（火災の危険性）。本製品をたこ足配線や延長コードで電源に接続しないでください。

本製品は、固定されていない場所（船上など）で使用しないでください。

凍結の恐れがある室内に本製品を設置しないでください。凍結したホースは、裂けたり破裂したりするリスクがあります。氷点を下回る温度では、電子制御装置の信頼性が損なわれる場合があります。

破損を防ぐために、完全にエア抜きされた配管に食器洗い機を接続している状態でのみ使用してください。

給水用プラスチック製ケースには、電磁弁が含まれています。ケーシングを浸水させないでください。

給水ホースには電気の流れる導線が取付けられています。ホースが長すぎても、切断しないでください。

警告

以下の条件が満たされている場合、食器洗い機の防水システムが水による被害を防ぎます：

- 機器が正しく設置されていること
- 食器洗い機が適切にメンテナンスされ、必要な部品交換がなされていること
- 長期不在中（旅行中など）は止水栓が閉められていること

ウォータープルーフシステムは、食器洗い機のスイッチがオフになっている時も機能しますが、電源に接続されている必要があります。

水接続圧力は 100 から 1,000 kPa の間である必要があります。

安全上のご注意

警告

破損した食器洗い機は危険です。食器洗い機が損傷している場合は、主電源を直ちに切り、ミーレ代理店またはミーレサービスに連絡してください。

保証期間中は、製品の修理はミーレ認定のサービス技術者のみが行うようにしてください。それ以外の人物が行った場合、保証の対象外となります。

ミーレが機器の安全性を保障できるのは、ミーレの純正交換部品が使用されている場合のみです。問題のあるコンポーネントを交換する場合は、必ずミーレ純正交換部品のみを使用してください。

設置、メンテナンス、および修理中は、本製品を主電源から切断する必要があります（スイッチをオフにしてプラグをソケットから抜く）。

破損した電源コードは、必ずミーレが販売する専用のコードに交換する必要があります。安全上の理由から、交換はミーレ認定のサービス技術者だけが行うようにしてください。

本製品には、特定条件（例えば温度、湿度、耐薬品性、耐摩耗性、振動）に対応する特別な照明（機種によって異なります）が備え付けられています。この特別な照明は決められた用途にのみ使用されます。室内照明には適していません。照明の交換は、ミーレ認定技術者、またはミーレサービスのみが行えます。

注意

正しい設置方法

食器洗い機の設置および接続は、設置施工手順書に従ってください。

食器洗い機の設置前・設置中は注意して行ってください。一部の金属部品には怪我/切断のリスクがあります。保護手袋を着用してください。

食器洗い機を正常に作動させるために、水平に配置する必要があります。

安全性を確保するために、ビルトイン式の食器洗い機は、必ず十分に固定されているカウンターの下に設置してください。

ドア開閉バランスのスプリングは、両側で均等に調整してください。ドアを半分（約45°の角度）開いたままにして、ドアが動かなければ、正しく調整されています。ドアが開いた角度でキープできることが重要です。
ドアのスプリングの調整が完了するまで、機器を操作しないでください。
ドアを適切に調整できない場合は、ミーレのカスタマーサービスにご連絡ください。

工場で取り付けられたドアのスプリングに合わせることができるフロントパネルの最大重量は、10 から 12 kgです（機種よって異なります）。

警告

正しい使用方法

食器洗い機に溶剤を使用しないでください。爆発の危険性があります。

食器洗い機の洗剤は、皮膚、目、鼻、口、のどの炎症の原因となる可能性があります。洗剤に触れないようにしてください。粉末洗剤を吸い込まないようにしてください。食器洗い機の洗剤を飲み込まないようにしてください。洗剤を吸い込んだり飲み込んだりした場合は、直ちに医師に相談してください。

不必要に食器洗い機のドアを開けたままにしないでください。開いたドアでけがをしたり、つまずいたりする恐れがあります。

開いたドアの上に座ったり、寄りかかったりしないでください。食器洗い機が傾くことがあります。これにより、ケガをしたり、食器洗い機が損傷する可能性があります。

プログラム終了時には、食器が非常に高温になっています。触っても熱くない温度に下がってから、食器を取り出すようにしてください。

必ず家庭用食器洗い機専用の洗剤と乾燥仕上げ剤のみを使用してください。食器用台所洗剤を使用しないでください。

業務用や工業用洗剤を使用しないでください。これらを使用すると、食器洗い機の破損を引き起こす可能性があり、深刻な爆発性化学反応（爆発性の酸水素ガス反応など）の危険性があります。

リンスエイド用投入口に粉末/液体洗剤を入れないでください。洗剤コンテナが破損する可能性があります。

警告

AutoDos（オートドス）（機種によって異なります）に粉末/液体洗剤を入れないでください。これらの洗剤は、AutoDos（オートドス）に損傷を与えます。

カトラリーバスケット付きの食器洗い機（機種によって異なります）については、安全上の理由から、ナイフとフォークはハンドル部分を上にしてバスケットに入れてください。ナイフとフォークは、ハンドル部分を下にして入れると怪我の原因になります。ただし、ハンドル部分を下にして バスケットに入れると、洗浄効果と乾燥効果が向上します。

使い捨てのプラスチックコンテナ、カトラリーなど、高温の水での洗浄に向かないプラスチック製のアイテムは、食器洗い機で洗浄しないでください。食器洗い機内の高温により、溶けたり変形したりする場合があります。

タイマーを使用する場合（機種によって異なります）、洗剤投入口が乾燥した状態である必要があります。濡れている場合は、水気を拭き取ってください。洗剤投入口が乾燥していないと、洗剤が固まってしまい、溶け切らないことがあります。

注意

アクセサリーと部品

ミーレ純正アクセサリーのみを使用してください。純正でない部品およびアクセサリーを使用した場合、保証、性能、および該当する場合の製造物責任賠償は無効になります。

安全上のご注意

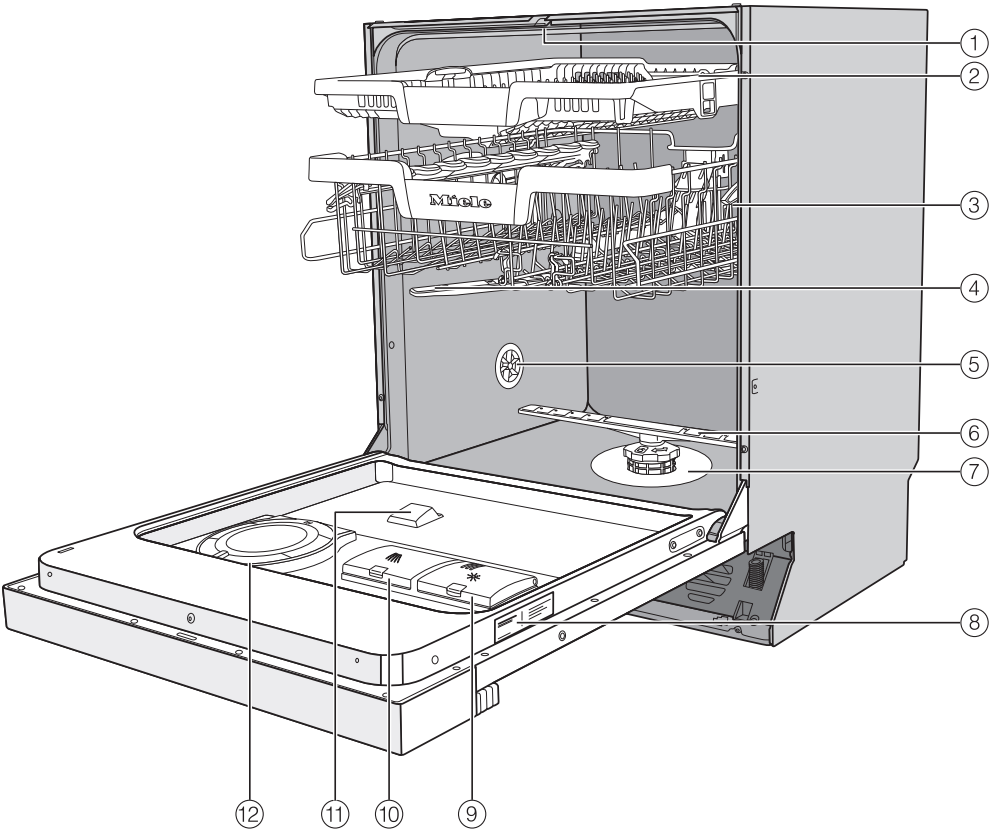
注意

輸送

電子制御装置に水が浸入すると故障の原因になるので、食器洗い機は必ず直立した状態で運搬してください。

食器洗い機を輸送する場合は、庫内を空にし、バスケット、ホース、電源コードなどの部品をすべてしっかり固定します。

全体図



① 上段スプレーアーム

② 3D MultiFlex トレイ（機種によって異なります）

③ 上部バスケット（機種によって異なります）

④ 中段スプレーアーム

⑤ 乾燥時の給排気口

⑥ 下段スプレーアーム

⑦ フィルター

⑧ 型式表示シール

⑨ 乾燥仕上げ剤投入口

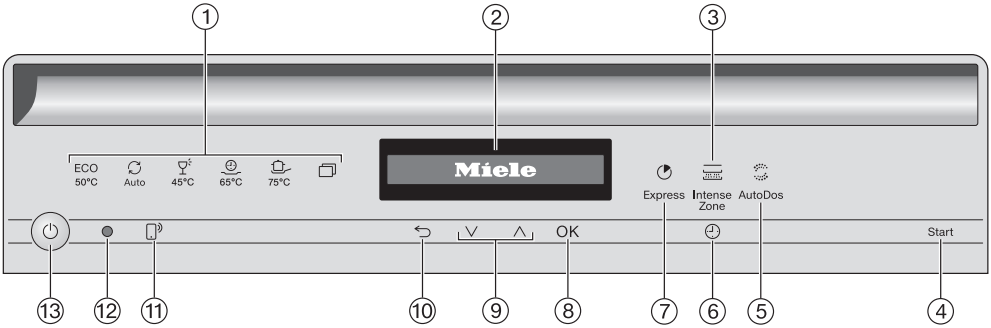
⑩ 洗剤投入口

⑪ AutoDos（オートドス）洗剤投入口

⑫ AutoDos（オートドス/洗剤自動投入）

各部の名称

操作パネル



① プログラム選択

ECO 50° C ＝ ECO 50 ° C

Auto ＝ 自動 45-65 ° C

45° C ＝ ジェントル 45 ° C

65° C ＝ QuickPowerWash（クイックパワーウォッシュ）65 ° C

75° C ＝ インテンシブ 75 ° C

＝ その他のプログラム/設定

② ディスプレイ
詳細については、「各部の名称―ディスプレイ機能」を参照してください。

③ IntenseZone (インテンスゾーン）センサーコントロール
下段バスケットの洗浄効果が向上します。

④ *Start（開始）* センサーコントロール
選択されたプログラムを開始します。

⑤ *AutoDos（オートドス）* センサーコントロール
AutoDos（オートドス）洗剤投入システムを有効/無効にします。

⑥ （タイマー）センサーコントロール
プログラム開始時間を選択します。

⑦ *Express（エクスプレス）* センサーコントロール
プログラム所要時間を短縮します。

⑧ *OK* センサーコントロール
メニューのオプションと表示された値を選択します。
メッセージを確定します。

⑨ ∨∧ センサーコントロール
プログラム選択に使用します。
表示された数値の変更に使用します。
他のメニューページにスクロールします。

⑩ *[戻る]* センサーコントロール
前のメニューに戻ったり、前に設定した数値を削除したりするのに使用します。

⑪ *[リモートスタート]* センサーコントロール
リモートスタートオプションを有効もしくは無効にします。

⑫ オプティカルインターフェイス
サービスの技術者が使用します。

⑬ *オン/オフ* センサーコントロール
食器洗い機の電源を入れたり切ったりします。

ディスプレイ機能

以下の機能を選択または設定できます：

- プログラム
- タイマー
- 設定⚑

ディスプレイには以下の項目が表示されます：

- プログラムの段階
- プログラムの残り時間の目安
- 電力量と水の消費量（エコフィードバック）
- 該当するエラーメッセージと情報

エネルギー節約のために、どのセンサーコントロールも数分間押さずにいると、食器洗い機の電源は切れます。
⏻センサーコントロールをタッチすると食器洗い機の電源が再び入ります。

OK センサーコントロールは、メッセージや設定の確定、次のメニューや別のレベルへの移動に使用されます。

その他のプログラム/設定 では、ディスプレイの右にスクロールバー ┃ が表示されます。ここではその他のオプションが表示されます。このオプションは、∨∧ センサーコントロールを使用して表示できます。

設定メニュー（「設定」の章 を参照）で、さまざまな要件に合わせて、食器洗い機の制御を変更することができます。

選択されたオプションには、その隣にチェック ✓ マークが付いています。

再びサブメニューを終了するには、⮌ [*戻る*] のセンサーコントロールを使用します。

どのセンサーコントロールも押さずに数秒経過すると、ディスプレイは前のメニューに戻ります。この場合、再び設定をする必要があります。

環境保護のために

梱包材の廃棄処分

梱包は本製品を輸送の際の損傷から保護するものです。梱包材は廃棄する際に環境への影響が少ない材質を使用しているため、リサイクルすることを推奨します。

梱包材をリサイクルすることで、製造工程での原材料の使用、また、埋め立て地へ廃棄する量を削減することができます。

使用済み製品の廃棄処分

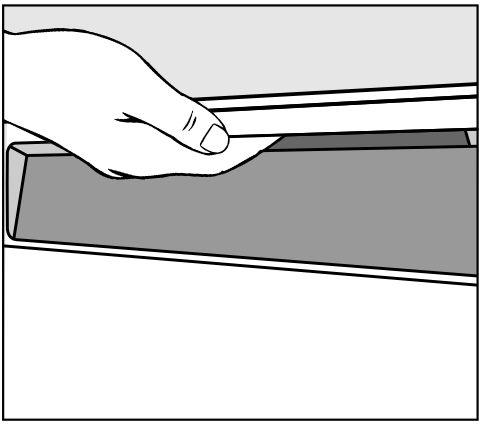
電気および電子機器には、貴重な材料が含まれている場合があります。
また、製品が正しく安全に作動するために不可欠な特定の金属、化合物、および部品も含まれています。これらは家庭ごみとして廃棄されたり不適切に取扱いをすると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。したがって、家庭ごみと共に不要になった製品を廃棄しないでください。

電気および電子機器について、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼するか、弊社代理店のアドバイスを受けてください。また使用者には（国によって法律により）廃棄する家電機器に保存されている可能性がある個人情報を削除する責任があります。不要になった製品を処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

すべての食器洗い機は工場でテストされています。このテストで使用された水が機器の内部に残っています。食器洗い機は新品であり、すでに使用されたわけではありません。

ドアを開ける

一部のプログラムでは、乾燥プロセスの促進のためにドアが自動でわずかに開きます。
必要に応じて、この機能を無効にできます（「設定—オートオープン」を参照）。



■ ドアは、取っ手の下に手を伸ばして引っ張ると開きます。

■ ドアを完全に開けると、ロック機能を解除できます。

プログラム終了時にオートオープン機能がオンになっている場合、ドアを開けるとアシストガイドは自動で引っ込みます。

技術的エラーを防止するために、ドアのアシストガイドがひっこむ時、つかまないでください。

運転中にドアを開けると、すべての洗浄機能は自動で中断します。

⚠ 熱湯によるやけどの恐れがあります。
運転中の庫内の水は非常に高温になります。
運転中にドアを開ける時は、細心の注意を払ってください。

⚠ ドアが自動で開くことによるけがの恐れがあります。
プログラム終了時に、ドアが自動で開く場合があります。
ドアの周りには物を置かないようにしてください。

ドアの閉め方

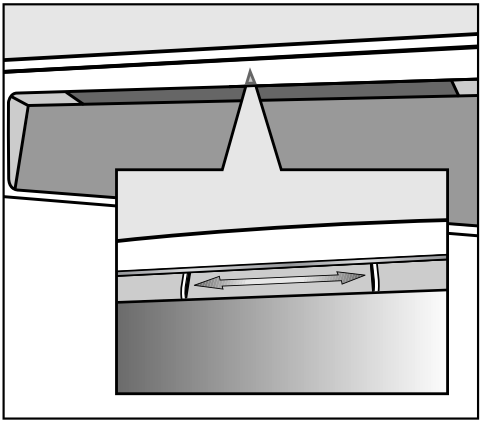
■ バスケットを奥まで押し込みます。

■ かちっと噛み合うまで、ドアを上に持ち上げます。

⚠ ドアを閉める時、ケガをする恐れがあります。
ドアを閉める時、指を挟む恐れがあります。
ドアを閉める時は、ドアの内側に手を入れないでください。

チャイルドロックを有効にする

チャイルドロックで、お子様が食器洗い機のドアを開けるのを防止します。これにより、ドアは強い力をかけないと開けることができなくなります。



■ ドアをロックするには、ドアグリップの下のスライドを右にずらします。

■ ドアのロックを解除するには、スライドを左にずらします。

Miele@home

本製品にはWiFiモジュールが搭載されています。

使用するためには、以下が必要です：

- WiFiネットワーク
- Miele@mobileアプリ
- ミーレのユーザーアカウント：ユーザーアカウントはMiele@mobileアプリ経由で作成できます。

食器洗い機をご家庭のWiFiネットワークに接続すると、Miele@mobileアプリがガイドします。

食器洗い機をWiFiネットワークに接続すると、アプリで以下のような操作が行えます：

- 食器洗い機のリモートコントロール
- 食器洗い機の運転に関する情報の表示
- 食器洗い機のプログラム工程に関する情報の表示

食器洗い機をWiFiネットワークに接続すると、本体の電源を切っても、エネルギー消費量が増えます。

食器洗い機を設置する場所の WiFiの電波が十分であることを確認してください。

WiFi 接続の利用について

WiFi 接続は他の電化製品（電子レンジや遠隔操作のおもちゃなど）と周波数帯域を共有しています。そのため、断続的または完全な接続障害が発生する可能性があり、 搭載された機能が常に利用可能であるという保証はできかねますので、ご了承ください。

Miele@homeのご利用

Miele@mobile アプリのご利用が可能かどうかは、お住まいの国でMiele@homeのサービスをご利用できるかによって異なります。

Miele@homeサービスは全ての国でご利用いただけるとは限りません。

Miele@mobileアプリ

Miele@mobileアプリは、Apple App Store®またはGoogle Play Store™から無料でダウンロードできます。

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

基本設定

食器洗い機の電源を入れる

■ ⏻ センサーコントロールを使用して、食器洗い機の電源を入れます。

はじめて食器洗い機の電源を入れると、ウェルカム画面が表示され、ウェルカムメロディーが流れます。

ディスプレイ機能についての詳細は、「各部の名称—ディスプレイ機能」を参照してください。

言語の設定

ディスプレイは、自動で言語設定画面に移行します。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して、使用する言語と国（該当する場合）を選択し、*OK* で確定します。

言語設定についての詳細は、「設定—言語」を参照してください。

設定した言語の隣に、チェックマーク ✓ が表示されます。

Miele@homeのセットアップ

メッセージ Miele@home**設定** がディスプレイに表示されます。

■ Miele@home を今すぐセットアップする場合は、*OK* をタッチして確定します。

ヒント: 後でセットアップする場合は、オプション **スキップ** を選択し、*OK* をタッチして確定します。

家庭内 WiFi ネットワークにお使いの食器洗い機を接続する方法は 2 つあります：

■ ご希望の接続方法を選択して、*OK* で確定します。

1. **アプリで接続**
2. **WPSで接続**

その後は、ディスプレイとMiele@mobileアプリのガイドに従ってください。

Miele@home についての詳細は、「設定—Miele@home」を参照してください。

時刻の設定

WiFi ネットワークに接続していれば、時刻は自動設定されます。

ディスプレイは、時刻設定画面に切り替わります。

タイマーオプションを使用する前に、必ず現在の時刻を設定してください。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して「時」を入力し、*OK* にタッチして入力を確定します。

■ 次に「分」を設定して、*OK* で確定します。

∨ または ∧ センサーコントロールを長押しすると、自動で時間が増減します。

AutoDos（オートドス）を有効にする

ディスプレイが AutoDos（オートドス）の設定画面に切り替わります（「洗剤—洗剤自動投入/AutoDos（オートドス）」を参照）。

AutoDos （オートドス）を使用しない場合でも、はじめてプログラムを実行する前に、パワーディスクコンパートメントから輸送保護材を取り外す必要があります（「洗剤—AutoDos（オートドス）」を参照）。

AutoDos（オートドス）は有効にできます。AutoDos（オートドス）機能を使用しない場合は、洗剤投入口に洗剤を手で投入できます（「洗剤—手動での洗剤投入」を参照）。

■ ご希望の設定を選択し、*OK* で確定します。

この設定はすべてのプログラムに適用され、これは *AutoDos（オートドス）* センサーコントロールを使用して、いつでも変更できます。

最後に、指示がディスプレイに表示されます。

OK でこれらの指示を確定すると、不足表示 ✳ **リンスを補給して下さい** が表示されます。

■ 必要に応じて乾燥仕上げ剤を追加します（「初めてお使いになる前に—乾燥仕上げ剤（リンスエイド）」を参照）。

■ *OK* 選択して、メッセージを確定します。

選択したプログラムがすぐにディスプレイに表示され、関連するセンサーコントロールが点灯します。
次に、数秒間選択したプログラムの電力と水の推定消費量が表示されます。
それから選択したプログラムの推定所要時間がディスプレイに表示されます。

乾燥仕上げ剤（リンスエイド）

乾燥仕上げ剤を使用すると、乾燥時の食器の水切れを良くし、水滴のあとが残るのを防ぐことができます。また、洗浄後の食器を早く乾かす効果もあります。
乾燥仕上げ剤をコンテナに注ぐと設定された量が自動で投入されます。

⚠ 食器洗い機用洗剤や食器用台所洗剤は損傷の原因となる可能性があります。

食器洗い機用洗剤や食器用台所洗剤は乾燥仕上げ剤のコンテナを損傷する恐れがあります。

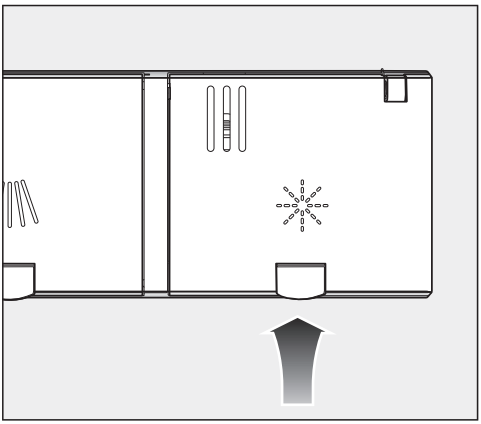
家庭用食器洗い機専用の乾燥仕上げ剤のみをご使用ください。

乾燥仕上げ剤があらかじめ配合されている洗剤をご使用になる場合は、乾燥仕上げ剤は必要ありません。
ただし、すすぎと乾燥効果を最適にするためには、食器洗い機用専用洗剤と乾燥仕上げ剤をそれぞれご使用ください。

乾燥仕上げ剤があらかじめ配合されている洗剤を使用する場合は、必要に応じて不足表示をオフにできます（「設定—リンスエイド）。

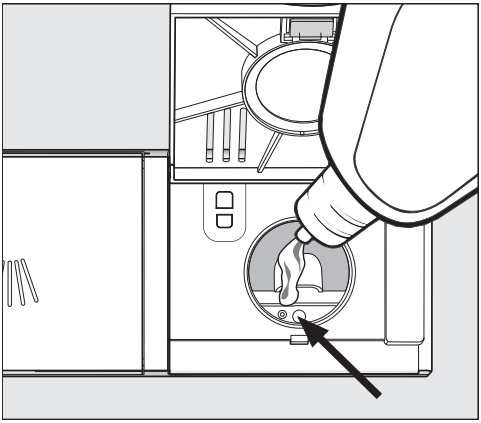
乾燥仕上げ剤が配合された洗剤の使用を停止した場合は、乾燥仕上げ剤（リンスエイド）を必ず使用してください。必要に応じて、不足表示がされるように切替えます。

乾燥仕上げ剤の追加



■ 乾燥仕上げ剤の投入口の蓋の上の黄色いボタン ✳ を押します。

蓋がバネで開きます。



■ ドアを水平に開け、補充レベル表示ランプ（矢印）が暗い色に変わるまで乾燥仕上げ剤を注入します。

乾燥仕上げ剤のコンテナの容量は約 110 ml です。

■ カチッと音がするまで、蓋をしっかりと閉じます。しっかりと閉じないと、プログラム実行中に乾燥仕上げ剤のコンテナに水が入る場合があります。

■ こぼれた乾燥仕上げ剤をふき取ります。これにより、次のプログラムでの泡が立ちすぎるのを防ぐことができます。

最適な洗浄効果を得るために、乾燥仕上げ剤の量は調整可能です（「設定—リンスエイド」を参照してください。）。

乾燥仕上げ剤の補充

ディスプレイに不足表示 ✳ リンスを補給して下さい が表示された場合、コンテナにはプログラム2、3回分の乾燥仕上げ剤しか残っていません。

■ 乾燥仕上げ剤を慎重に補充します。

■ *OK* を押して確定します。

乾燥仕上げ剤の不足表示が消えます。

エネルギーを節約できる洗い方

本食器洗い機は、節電および節水効果の高い製品です。
以下に挙げるポイントに注意してご活用いただくと、本製品の経済性を最大限に活かすことできます。：

- 一般的に、食器洗い機での洗浄は手洗いよりも水とエネルギーを消費しません。
- 水とエネルギー消費を不必要に増加させる、水を流したままでの食器のすすぎが不要です。
- 食器を詰め込みすぎることなく、バスケットを上手く活用して食器を配置することで、最も経済的に食器を洗浄できます。これにより、電力と水の消費という点で最も経済的な食器洗浄が可能になります。
- 洗浄する食器のタイプと汚れの程度に合わせてプログラムを選択します（「プログラム早見表」を参照）。
- エネルギーを節約して洗うには *ECO（エコ）* プログラムを選択します。このプログラムは、通常の汚れの食器を洗浄する場合の節電および節水に最も効率的です。
- 給湯器に接続する場合は、*ソーラーセーブ* プログラムを選択します（「設置—給水」を参照）。このプログラムでは、水を温めません。
- 洗剤の使用量は、洗剤メーカーの推奨に従ってください。
- 粉末洗剤または液体洗剤をご使用の場合、洗う食器がバスケット全体の半分のときは、洗剤の量を $^{1}/_{3}$ まで減らしてください。

環境保護のために

エコフィードバック消費量表示

消費量機能は、食器洗い機の電気と水の消費に関する情報を表示するために使用されます（「設定―消費量（エコフィードバック）」を参照）。

次の情報がディスプレイに表示されます：

- プログラム開始前の推定消費量
- プログラム終了時の実際の消費量
- 食器洗い機の総消費量

1. 消費量の目安

プログラムを選択後、プログラム名が表示され、数秒後に推定の電力消費量と -◁- 水の消費量 ◊ がディスプレイに表示されます。

推定消費量が、棒グラフで表示されます。棒グラフが多いほど（▮▮▮）、電力と水の消費量は多くなります。

この値は、プログラム、選択されたプログラムオプション、周囲の条件、庫内の食器の量によって変化します。

ディスプレイは、推定消費量の表示から残り時間の表示に自動で切り替わります。

推定消費量の表示は、標準で有効にされています。必要に応じて、この機能は無効にできます（「設定―消費量（エコフィードバック）」参照）。

2. 実際の消費量

プログラム終了時に実際に使用された電力と水の消費量が表示されます。

■ 消費量 (OK) メッセージを *OK* で確定します。

プログラム終了時に食器洗い機の電源を切ると、このプログラムで実際に使用された消費量の値は削除されます。

3.合計消費量

それまでの食器洗い機のプログラムで使用された電力量・水の消費量の合計を表示することもできます。（「設定―消費量（エコフィードバック）」参照）。

注意点

付着している残菜を取り除きます。

流水で汚れを事前に洗い落とす必要はありません。

⚠ 灰、砂、ワックス、潤滑剤、ペンキは損傷の原因となります。
このような物質は、食器洗い機を汚染し、一度浸入すると取り除けません。
これらの物質で汚れた食器を食器洗い機で洗浄しないでください。

食器はバスケットのどこに入れても構いませんが、以下の注意に従ってください：

- 食器やカトラリーを他のアイテムの内側に置いて、中のアイテムが覆われないようにしてください。
- 食器類は、水がすべての表面に当たるようにセットしてください。洗浄効果を高めることができます。
- すべての食器が安定した状態でセットされていることをご確認ください。
- カップ、グラス、鍋などのくぼんだものは、バスケットに伏せて置いてください。
- シャンパングラスなどの高さがあり細くくぼんだものは、バスケットの隅ではなく中央に置くようにしてください。こうすることで、食器の中に水が十分あたりやすくなります。
- 底が広いアイテムは、水が流れ落ちやすいように斜めに配置してください。
- 食器の高さが高すぎたり、バスケットの下からはみ出している場合、スプレーアームの回転が妨げられることがあります。スプレーアームを手で回転させて、自由に動くことをご確認ください。
- 小物類がホルダーからバスケットに落下しないようにご確認ください。
  蓋などの小さなアイテムは、3D MultiFlex トレイにセットしてください。

ニンジン、トマト、ケチャップなどの食品には、天然色素を含みます。それらの食品が大量に付着した食器を食器洗い機に入れると、プラスチック製品が変色する恐れがあります。この変色によって、プラスチック製品が変質することはありません。
銀食器を入れた場合もプラスチック製品が変色する恐れがあります。

食器の入れ方

洗ってはいけない食器：

- 木製または部分的に木が使用されている小物類および食器：変色したり色あせしたりする可能性があります。このようなアイテムに使用されている接着剤は、食器洗い機に耐性がなく、洗浄後に木製の持ち手が外れる可能性があります。
- 工芸品、アンティーク品、高価な花瓶、装飾ガラス製品：このようなアイテムは、食器洗い機で洗わないでください。
- 耐熱性のないプラスチック製品：食器洗い機内の高温により、溶けたり変形したりするおそれがあります。
- 銅、青銅、錫、アルミニウム製品：変色や色あせ、光沢がなくなる場合があります。
- 上絵づけを施した陶磁器：洗浄を繰り返すことで色あせする場合があります。
- 繊細なガラス製品や鉛を含んだクリスタル製品：曇りが発生する可能性があります。
- 土鍋

銀製品

硫黄を含んだ食品と接触すると銀製品は、変色することがあります。これに該当する食品は、卵黄、玉ねぎ、マヨネーズ、マスタード、豆類、魚、魚の塩水漬けやマリネなどがあります。

銀製品用研磨剤で磨かれた**銀製品**は水切れが悪いため、プログラム終了後も濡れていたり、水滴のあとが残る場合があります。

ヒント: 柔らかい布で銀製品を拭いて乾かします。

⚠ 苛性アルカリ洗剤による損傷。

アルミニウム部品（レンジフードのグリースフィルターなど）は、苛性アルカリ洗剤で損傷する可能性があります。極端な場合、深刻な爆発性化学反応（爆発性の酸水素ガス反応など）のリスクがあります。

アルミニウム製品は、苛性アルカリ洗剤/工業用洗剤を使用して食器洗い機で洗浄しないでください。

ヒント: 新しい食器や小物類を購入する際、食器洗い機で洗浄したい場合は、食器洗い機に対応していることを確認してください。

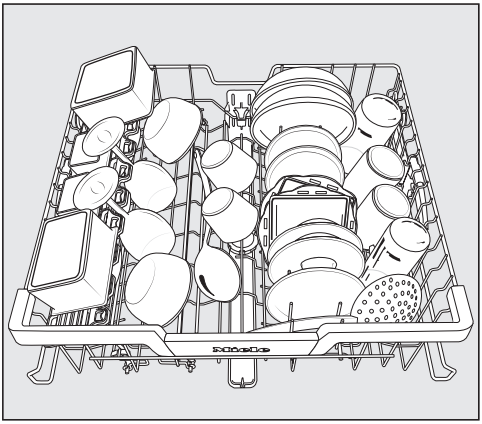
グラス製品の取り扱い

- 食器洗い機で頻繁に洗浄すると、グラス製品に曇りが発生する場合があります。デリケートなグラス製品を食器洗い機で洗浄する場合は、低温の専用グラスケアプログラムだけを選択してください（「プログラム早見表」を参照））。これにより、曇りの発生するリスクが低くなります。
- 食器洗い機に対応したグラス製品（リーデル製品など）を購入するようにしてください。
- グラス保護成分を含む洗剤を使用してください。

上段バスケット

上段バスケットの入れ方

⚠ 水漏れによる損傷。
上段バスケットなしで食器洗い機を作動させると、水漏れが発生する可能性があります。
食器洗い機は、上段バスケットを設置した後でのみ作動させます (ただし ボトムソロ プログラムが使用できる場合は除きます)。

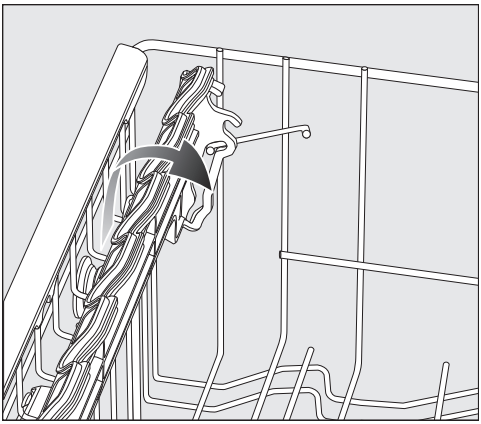


■ ボウル、カップ、グラスなどの小さくて軽量でデリケートな食器類は上段バスケットを使用します。
浅い鍋やキャセロール皿も、上段バスケットに入れることができます。

■ スープレードルやミキシングスプーンなどの長いアイテムは、上段バスケットの手前側に寝かせて入れます。

フレックスケア カップラックの入れ方

カップ、小さいボウル、平らな食器はフレックスケア カップラックに置くことができます。グラスは洗浄中に倒れないようにカップラックに沿って並べることができます。

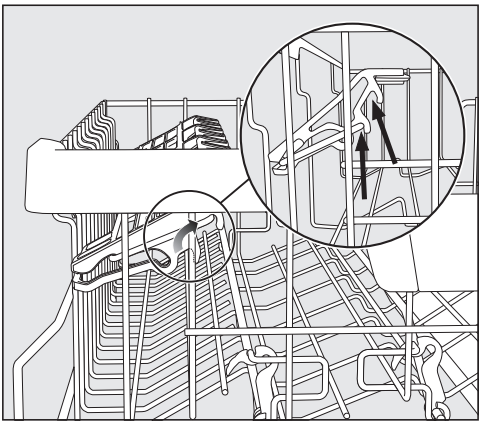


■ 使用するためにはカップラックを下げてください。

■ 背の高いアイテムを並べる場合は、カップラックを上に引き上げます。

フレックスケア カップラックの調整

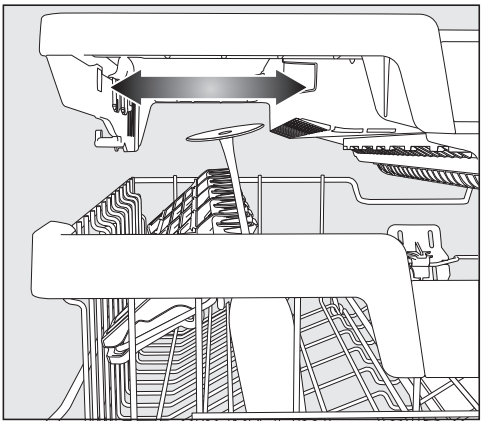
カップラックの高さと深さは 2 段階に設定できます。背の高い食器をカップラックの下に置き、大きなカップをその上に置くことができます。



■ カップラックを上に引っ張り、必要な位置に留めます（矢印を参照）。

フレックスケア カップラックのシリコンパッドへの入れ方

カップラックのシリコンパッドは、長い脚が付いた背の高いグラスをしっかりと支えるために特別に設計されています。

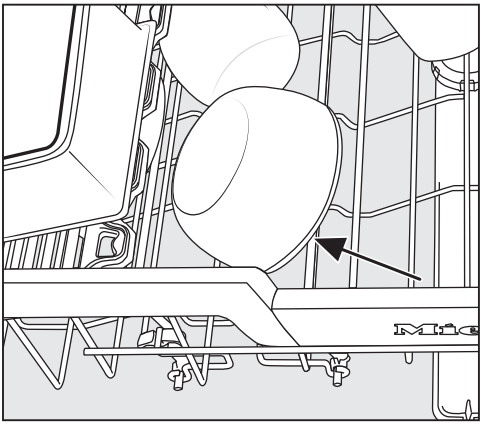


■ カップラックを下げ、開口部にグラスを立てかけます。

■ 3D MultiFlexトレイの左側面をスライドさせて高さのあるグラスを入れるスペースを作ることができます（「カトラリートレイ－3DMultiFlexトレイの入れ方」を参照）。

ヒンジ付きボウルラックの入れ方

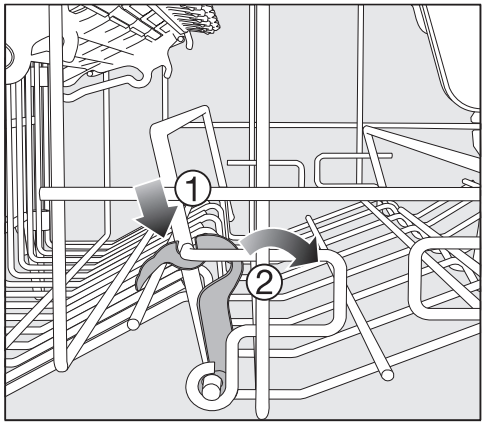
上段バスケット左側にあるヒンジ付きボウルラックは、小さいボウルを入れるために使用します。



■ 水切りしやすいように、ボウルをヒンジ付きボウルラックに斜めにセットします。

ヒンジ付きボウルラックを倒す

上段バスケット左のヒンジ付きボウルラックを倒すことで、シリアルボウルなどの大きな食器を簡単に置くことができます。



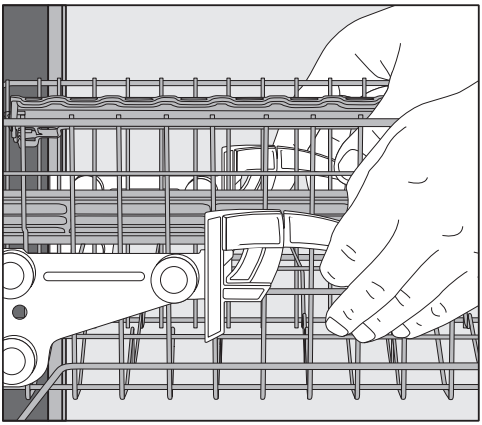
■ 黄色いレバーを押し下げて ①、ヒンジ付きボウルラックを倒します ②。

上段バスケットの高さ調整

下段バスケットまたは上段バスケットで背の高い食器のスペースを確保するために、上段バスケットは、2 cm 間隔の 3 段階調整が可能です。

また、深皿などに水が残るのを防ぐために、上段バスケットを傾けることも可能です。ただし、庫内からバスケットをスムーズに出し入れできることをご確認ください。

■ 上段バスケットを引き出します。



上段バスケットを上方向に調節：

■ バスケットがカチッとはまるまで持ち上げます。

上段バスケットを下方向に調節：

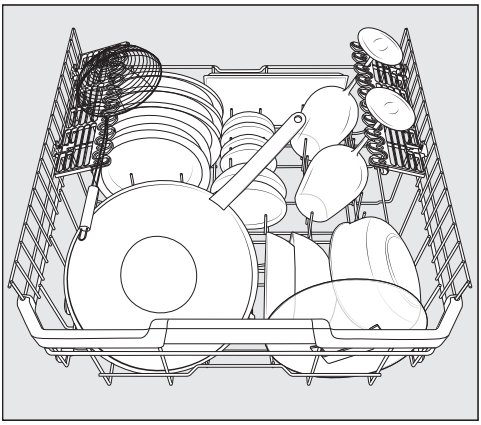
■ 上段バスケットの両側に付いているレバーを上に引っ張ります。

■ バスケットを希望の高さに調節し、レバーをしっかりと所定の位置にはめて固定します。

上段バスケットを調節する際に、中央スプレーアームを遮らないようにご注意ください。

下段バスケット

下段バスケットの入れ方

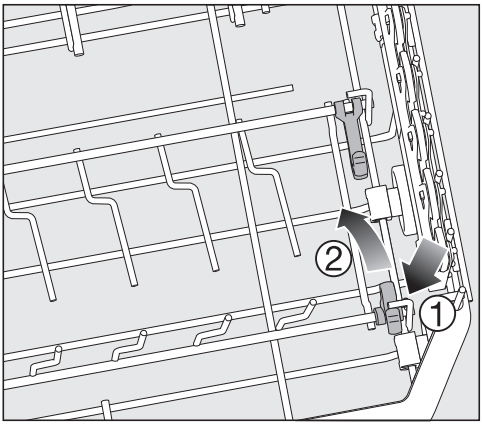


■ 皿、サーブ用の皿、鍋、ボウル、フライパンなどの大きく重量のあるものは、下段バスケットに入れてください。
グラス、カップ、小皿も下段バスケットに入れることができます。

可倒式ピンを倒す

正面のピンの列は、皿、スープ皿、大皿、ボウルを洗うときに使用します。

右側のピンの両方の列を倒すことで、鍋、フライパン、サーブ用のお皿などの大きなものを入れるスペースをつくることができます。



■ 黄色いレバーを押し下げて ①、ピンの列を倒します ②。

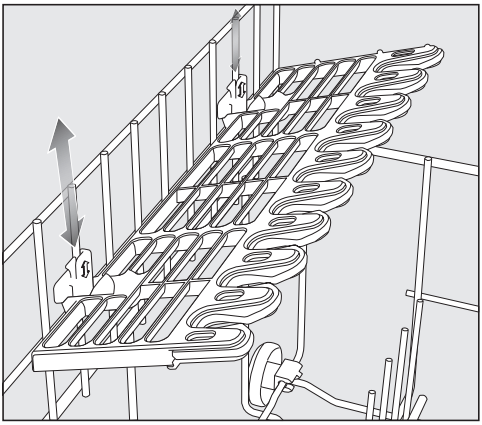
フレックスケアグラスホルダーの入れ方

グラスホルダーのシリコンパッドは、デリケートな脚付きのグラスを安全にしっかりと立てかけることができます。

■ ワイングラス、シャンパングラス、ビアグラスなどの脚付きグラスは、グラスラックに立てかけたり、吊り下げたりすることができます。

■ グラスラックを上げて、背の高いアイテムのためのスペースを作ることができます。

グラスホルダーは、2 段階の高さに設定できます。



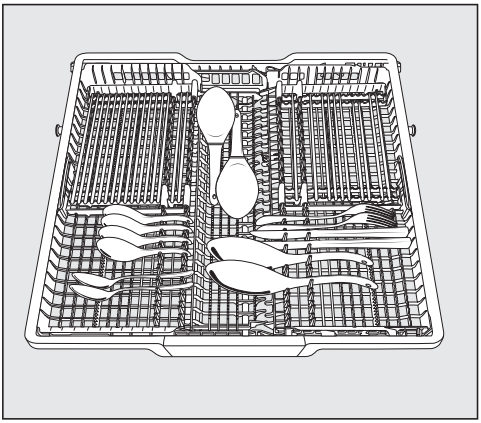
■ つめが上部または下部の所定の位置にカチッと留まるまで、グラスホルダーを目的の高さにスライドさせます。

カトラリートレイ

食器類やカトラリーの入れ方の例は、それぞれの図を参照してください。

■ カトラリーを3D MultiFlexトレイに並べます。

3D MultiFlexトレイの入れ方



取り出しやすくするために、カトラリーはナイフ、フォーク、スプーンごとに分類します。

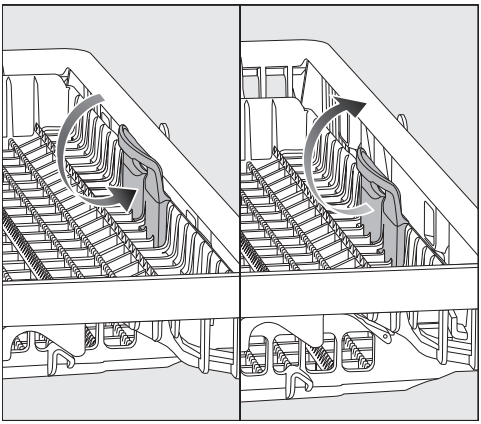
スプーンに水が残らないようにするために、スプーンのすくい取る部分をトレイの切り込み部分に沿って置いてください。

左側面を中央にスライドして、上段バスケットに背の高い食器や長い脚が付いたグラスを収納することができます（「上段バスケット―フレックスケア カップラックのシリコンパッドへの入れ方」を参照）。

大きく長いカトラリーは、トレイのくぼんだ中央部分に置くことができます。

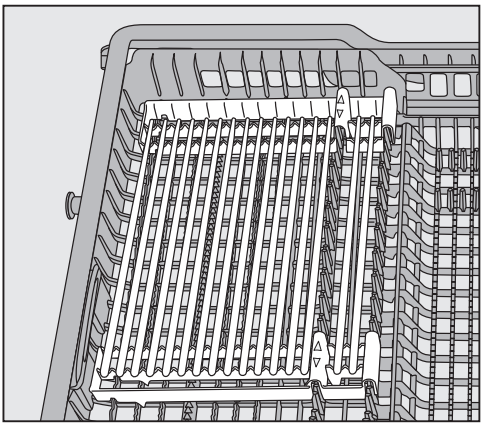
高さのあるアイテム（ケーキサーバーなど）が上部スプレーアームの回転を妨げないようにしてください。

右側のインサートの高さを調整して、トレイの右側部分に、より大きなカトラリーや小さな食器類用のスペースをつくることができます。



■ インサートを黄色いハンドルで内側に引っ張り、2つの位置のどちらかにカチッとはめ込みます。

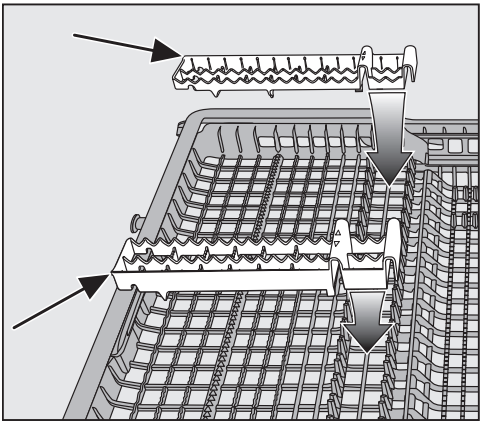
お箸ホルダー



お箸ホルダーには、最大32本の箸が入ります。

お箸ホルダーの間の距離は、箸の長さに合わせて調整できます。

お箸ホルダーは、他のカトラリーのためのスペースを確保するために取り外すこともできます。



■ カトラリートレイの希望位置に、カチッと音がするまでお箸ホルダーを再びセットします。

■ お箸がすべらないように、フレームを重ねます。

有効成分

⚠ 不適切な洗剤の使用による損傷。
家庭用食器洗い機に適さない洗剤は、食器洗い機や庫内の食器類に損傷を与える可能性があります。
家庭用食器洗い機専用の洗剤だけを使用してください。

最近の洗剤には、様々な有効成分が含まれています。最も重要な成分は以下の通りです：

- 水の石灰化を防ぐための水軟化剤。
- 乾いてこびりついた汚れの除去に役立つアルカリ。
- でんぷんやタンパク質を分解する酵素。
- 色染み（お茶、コーヒー、トマトソースなど）を除去するための酸素系漂白剤。

ほとんどの食器洗い機用洗剤は弱アルカリ性で、酵素と酸素系漂白剤が含まれています。

洗剤の種類：

- 粉末および液体洗剤。これらの洗剤は食器量や汚れの程度に合わせて投入量を調整できます。
- タブレット洗剤。ほぼすべての汚れの程度に適しています。

通常の洗剤の他に、混合製品も使用できます。このような洗剤には、乾燥仕上げ剤などが含まれています。
混合洗剤の洗浄および乾燥性能は、製品によって大きく異なる場合があります。

洗浄および乾燥効果を最大限に得るために、食器洗い機用洗剤、乾燥仕上げ剤を別々にご使用ください。

洗剤

⚠ 洗剤による化学火傷の危険性。
食器洗い機の洗剤は、皮膚、目、鼻、口、のどの炎症の原因となる可能性があります。
洗剤に触れないようにしてください。
粉末洗剤を吸い込まないようにしてください。食器洗い機の洗剤を飲み込まないようにしてください。洗剤を吸い込んだり飲み込んだりした場合は、直ちに医師に相談してください。
洗剤はお子様の手の届かないところに保管してください。洗剤が食器洗い機に残留している可能性があります。ドアが開いている時は、食器洗い機にお子様を近づけないようにしてください。プログラムを開始する直前に洗剤を入れドアのチャイルドロック（機種によって異なります）をオンにします。

洗剤の入れ方

2 種類の洗剤の投入方法があります。

自動洗剤投入機能 AutoDos（オートドス）は、パワーディスクが挿入されると、各プログラムの工程で必要な洗剤の量を自動で投入します（「洗剤—洗剤自動投入/AutoDos（オートドス）」を参照）。

AutoDos（オートドス）機能を使用しない場合は、洗剤投入口に洗剤を手で投入できます。この場合、各プログラム開始前に、必要な量の洗剤を洗剤投入口に手で投入する必要があります（「洗剤—手動での洗剤投入」を参照）。

洗剤自動投入/AutoDos（オートドス）

AutoDos（オートドス）を使用する前に、粉末洗剤が入ったパワーディスクをパワーディスクコンパートメントにセットする必要があります。

パワーディスク 1 つに、約 20 回分の洗剤が含まれています（選択したプログラムによって異なります）。

パワーディスクは、直接ミーレや、ミーレウェブショップ、またはミーレ販売代理店よりご注文いただけます。

⚠ 残った洗剤による化学損傷の危険性。
洗剤には腐食作用があります。これは、健康上の問題や本体表面への損傷を引き起こす可能性があります。AutoDos（オートドス）の間違った使用や漏れが発生すると、残りの洗剤が食器洗い機の前の床に流れ出す場合があります。
食器洗い機の前にこぼれた洗剤は常にすぐ取り除いてください。

AutoDos（オートドス）を有効にする

■ ⏻ センサーコントロールを使用して、食器洗い機の電源を入れます。

■ AutoDos（オートドス）をはじめて使用する前に、パワーディスクコンパートメントから輸送保護剤を取り外し、適切に廃棄してください。

■ パワーディスクをセットします（「洗剤自動投入/AutoDos（オートドス）—パワーディスクのセット」を参照）。

AutoDos（オートドス） 機能は、自動で有効化されます。
メッセージ AutoDos オン がディスプレイに表示されます。

この設定はすべてのプログラムに適用され、これは *AutoDos（オートドス）* センサーコントロールを使用して、いつでも変更できます。

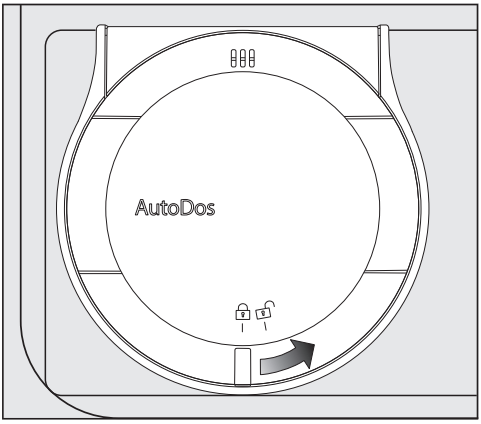
48時間プログラムが開始されない場合、洗剤が固まらないように、パワーディスクは自動回転します。この場合、食器洗い機の電源を入れると、ディスプレイにメッセージ パウダーリフレッシュ中 が表示されます。洗剤は投入されません。

パワーディスクのセット

パワーディスクを交換する前に、食器洗い機の電源を入れ、食器洗い機にこれを認識させます。

メッセージ PowerDisk ほぼ空 が表示された場合、コンテナにはプログラム2、3回分の洗剤しか残っていません。

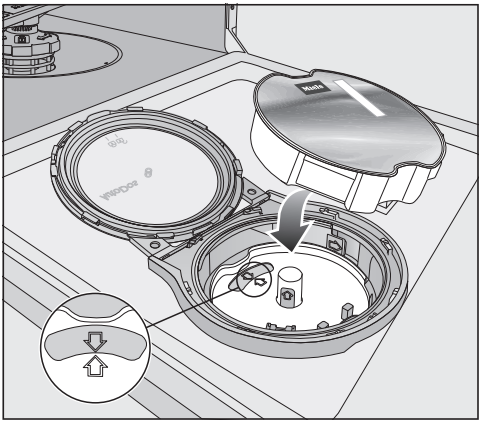
メッセージ PowerDisk 空. OKで AutoDosオフ が表示された場合のみ、パワーディスクを交換します。



■ AutoDos（オートドス）のカバーを回して 🔓 開けます。

メッセージ AutoDosフタオープン がディスプレイに表示されます。

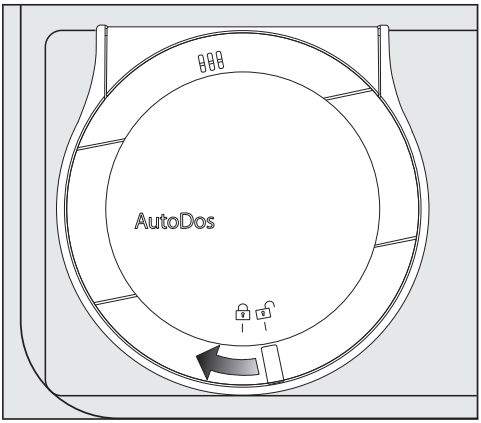
■ 空のパワーディスクを取り外します。



■ パワーディスクホルダーと表示ウィンドウの矢印が合っていない場合、パワーディスクホルダーを取り外します（「掃除とお手入れ—AutoDos（オートドス）の清掃」を参照）。

■ 両方の矢印が合い、ホルダーが平らになるように、ホルダーを元の位置に戻します。これを行う時は、パワーディスクホルダーの中央の黄色のタブの部分だけに触れるようにしてください。側面のタブに触れないでください。

■ 新しいパワーディスクをセットし、平らになるまで均等に押し下げます。



■ AutoDos（オートドス）のカバーを閉め、カバーのハンドルが 🔒 シンボルのすぐ下にくるまで回します。

パワーディスクの開始位置が正しくないと、自動で回転して *AutoDos（オートドス）* 機能が有効になります。
このプロセスが終了するのを待ってから、プログラムを開始します。

AutoDos（オートドス）のカバーは、AutoDos（オートドス）への損傷を防止するために閉めてください。
AutoDos（オートドス）のカバーは、食器洗い機のドアを閉める前に必ず閉めてください。これを行わないと、AutoDos（オートドス）が損傷する可能性があります。

AutoDos（オートドス）のカバーが開いている時は、プログラムを開始できません。

粉末洗剤は、固まらないように乾燥したものを使用してください。
AutoDos（オートドス）には、いかなる液体も入れないでください。

AutoDos（オートドス）が最適な状態で動作するように、パワーディスクを交換するたびに点検し、必要に応じて清掃してください（「掃除とお手入れ—AutoDos（オートドス）の清掃」を参照）。

手動での洗剤投入

AutoDos（オートドス） センサーコントロールで洗剤自動投入機能を無効にした場合は、手で洗剤を入れる必要があります。

洗剤の入れ方

洗剤コンテナの容量は 50 ml です。

洗剤コンテナには、20、30、最大量の投入量の目安のマークが付いています。これらのマークはドアを水平位置に開いている状態でのおおよその量 (ml) と最大量を表示しています。

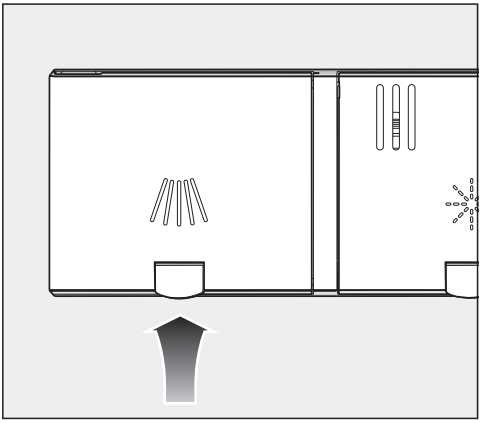
■ パッケージに記載されたメーカー推奨の洗剤投入量に従ってください。

■ 特別な指示がない限り、洗剤タブレット1個、または食器類の汚れの程度に合わせて、20-30 ml の洗剤をコンテナに入れます。

推奨される洗剤投入量に従わないと、洗浄効果を損なう場合があります。

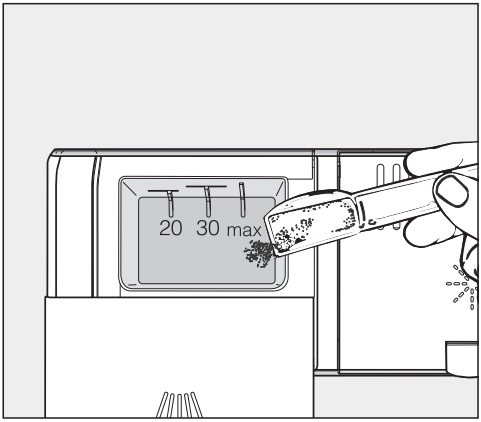
QuickPowerWash (クイックパワーウォッシュ) プログラムを選択した場合、一部の洗剤タブレットが完全に溶けない場合があります。

洗剤の投入



■ 洗剤投入口の蓋の上の黄色いボタン /\\\ を押します。

蓋がバネで開きます。
蓋はプログラム終了時、開いたままになっています。



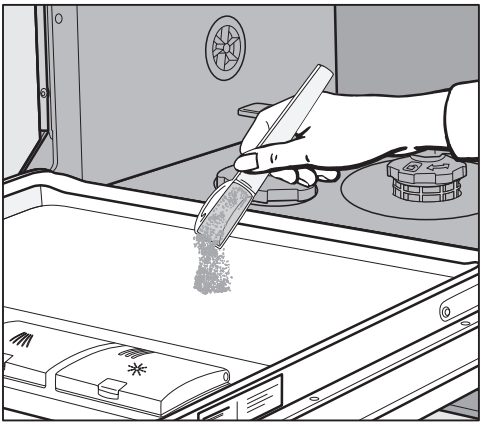
■ 洗剤コンテナに洗剤を入れます。

■ カチッと音がするまで、蓋を押して閉めます。

> 洗剤がくっついて、洗剤投入口の蓋が動かなくなることがないようにしてください。プログラム実行中に蓋が開かなくなります。
> 洗剤コンテナに洗剤を入れすぎないでください。

■ 必要に応じて、洗剤自動投入/AutoDos（オートドス）機能を無効にします。

■ 洗剤のパッケージは使用後にしっかりと密封してください。洗剤が湿って固まるのを防ぐことができます。



■ 予備洗いがあるプログラムでは、ドアの内側パネルに少量の洗剤を投入することもできます（「プログラム早見表」を参照）。

食器洗い機の電源を入れる

■ スプレーアームが問題なく回転することを確認してください。

■ ドアを閉めます。

■ 止水栓が閉まっていたら、開けます。

■ ⏻ センサーコントロールにタッチします。食器洗い機の電源を切って、1 分以上が経過した場合、⏻ センサーコントロールを少し長く押し続けてください（ワイプ保護）。

選択したプログラムがすぐにディスプレイに表示され、関連するセンサーコントロールが点灯します。
次に、数秒間選択したプログラムの電気と水の推定消費量が表示されます。
その後、選択したプログラムの推定所要時間がディスプレイに表示されます。

Start（開始） センサーコントロールが点滅します。

プログラムの選択

食器の種類と汚れの程度に合わせてプログラムを選択します。

各種プログラムとその使い方についての詳細は、**「プログラム早見表」**に記載されています。

■ 必要なプログラムのセンサーコントロールにタッチします。

選択したプログラムのセンサーコントロールが点灯します。

その他のプログラムは、⧉ で選択できます。

■ ⧉ センサーコントロールにタッチします。

最初のその他のプログラムがディスプレイに表示されます。

■ ディスプレイの ∨∧ センサーコントロールで、使用するプログラムを選択します。

これで、プログラムオプションの選択が可能になります（「プログラムオプション」を参照）。

プログラムオプションが選択されている場合、該当するセンサーコントロールが点灯します。

プログラム所要時間の表示

プログラム開始前に、選択したプログラムの推定所要時間がディスプレイに表示されます。プログラム運転中は、プログラム終了までの残り時間が表示されます。

プログラムの段階を示すアイコンが表示されます：

予備洗い/つけ置き洗い

本洗い

中間すすぎ

最終すすぎ

乾燥

終了

表示されるプログラム時間は、同じプログラムでも異なる場合があります。給水温度、洗剤の種類、食器の量、汚れの程度などに影響されます。

プログラムを最初に選択する時は、冷水を給水した場合のそのプログラムの平均所要時間がディスプレイに表示されます。

「プログラム早見表」の章に記載されているプログラム所要時間は、標準的な食器類の量と水温でテストしたときの数値です。

プログラムが実行されるたびに、コントロールディスプレイモジュールは、食器洗い機で使用される水の温度と食器の量に応じて、プログラム所要時間を計算します。

プログラムの開始

■ *Start（開始）* センサーコントロールにタッチします。
必要に応じて、前に表示されたメッセージを *OK* で確定します。

プログラムが始まります。

Start（開始） センサーコントロールが点灯します。

プログラム運転中、*OK* ボタンで、現在実行されているプログラム名を確認できます。

⚠ 熱湯によるやけどの恐れがあります。
運転中の庫内の水は非常に高温になります。
運転中にドアを開ける時は、細心の注意を払ってください。

プログラムの終了

プログラム終了時にブザーが鳴る場合があります。

終了 というメッセージがディスプレイに表示されるとプログラムは終了します。

一部のプログラムでは、オートオープン機能が有効になっている場合、ドアは自動でわずかに開きます（「設定—オートオープン」を参照）。これにより乾燥が促進されます。

消費量 機能が有効になっている場合、終了したばかりのプログラムの実際の電力量と水の消費量を表示できます（「環境保護のために—エコフィードバック消費量表示」を参照）。

プログラム終了後も、乾燥ファンが数分間作動し続ける場合があります。

⚠ 蒸気による損傷の危険性。

ファンが作動しなくなると、プログラム終了時にドアを開けた時の食器洗い機からの蒸気で、デリケートなカウンターの縁が損傷する恐れがあります。

オートオープン機能（「設定—オートオープン」を参照）を無効にした場合、プログラム終了時にドアを開ける時はドアを完全に開くようにしてください。

エネルギー節約

省エネのために、食器洗い機は、最後にセンサーコントロールが押されてから、またはプログラム終了後10分で自動的に電源が切れます。

⏻ センサーコントロールで、食器洗い機の電源を再度入れることができます。

食器洗い機の電源を切って1 分以上が経過した場合、⏻ センサーコントロールを少し長く押し続けてください（ワイプ保護）。

プログラム実行中、または故障が発生している場合、食器洗い機は自動で電源が切れません。

食器洗い機の電源を切る

■ 食器洗い機は、⏻ センサーコントロールでいつでも電源を切ることができます。

■ **電源オフ**を *OK* で確定します。

プログラム実行中に食器洗い機の電源を切ると、プログラムは停止します。

進行中のタイマーを停止させて、プログラムを停止させることもできます。

■ ⏻ センサーコントロールにタッチしたけれど、プログラムをキャンセルしたくない場合は、∨ ボタンでディスプレイの **電源をオフにしない** オプションを選択し、*OK* で確定します。

⚠ 水漏れによる損傷のおそれがあります。
水があふれると損傷の原因になります。
旅行などで長期間食器洗い機を使用しない場合は、念のため止水栓を閉めてください。

食器の取り出し方

食器の破損や欠けは高温時に発生しやすくなります。触っても熱くない温度に下がってから、食器を取り出すようにしてください。

電源を切った後でドアを完全に開けると、食器を早く冷ますことができます。

■ まず下段バスケット、次に上段バスケット、最後に 3D MultiFlexトレイの順で食器を取り出します。
これにより、上段バスケットと 3D MultiFlexトレイからの水滴が下段バスケットの食器に落ちるのを防ぎます。

プログラムの中断

ドアが開くとすぐにプログラムは中断します。ドアを再び閉めると、プログラムは中断したところから再開します。

⚠ 熱湯によるやけどの恐れがあります。
運転中の庫内の水は非常に高温になります。
運転中にドアを開ける時は、細心の注意を払ってください。

プログラムのキャンセル/変更

プログラムがキャンセルされると、重要なプログラムの段階が失われる場合があります。
プログラムをキャンセルする場合は、プログラム工程の最初の数分間で行う必要があります。

プログラムがすでに始まっており、キャンセルしたい場合は、以下の手順に従ってください：

- ⏻ センサーコントロールを使用して食器洗い機の電源を切ります。
- 電源オフを *OK* で確定します。

別のプログラムを選択したい場合：

- ⏻ センサーコントロールを使用して、食器洗い機の電源を再び入れます。
- 洗剤を手で投入した場合は、洗剤の投入口がまだ閉まっているかどうかを確認してください。
  蓋がすでに開いている場合は、洗剤を再び入れて閉じます。
- 実行したいプログラムを選択して、開始します。

タイマー ◷

タイマー ◷ には、プログラムを開始する時間を予約するためのいくつかのオプションがあります。プログラムの開始時間や終了時間を設定できます。EcoStart または SmartStart 機能（国によって使用できない場合がございます）を使用して、電気料金が安い時間帯に食器洗い機を使用することも可能です。

手で洗剤を投入する際に洗剤コンテナが乾燥していないと、洗剤が固まります。すすぎが完全に行われません。

タイマー機能を使用するときは、洗剤を投入する前に洗剤コンテナが乾燥していることを確認してください。必要に応じて、最初に布で拭き取って乾燥させます。
液体洗剤を使用しないでください。漏れる可能性があります。

⚠ 洗剤は健康に悪影響をおよぼします。
お子様が食器洗い機用洗剤に触れないようにするために：

プログラム開始の直前（例：タイマーを作動させる前）まで洗剤投入口に洗剤を投入しないでください。チャイルドロックで、食器洗い機のドアが開かないようにします。

タイマーを有効にする

■ ⏻ センサーコントロールを使用して、食器洗い機の電源を入れます。

Start（開始） センサーコントロールが点滅します。

■ 実行したいプログラムを選択します。

■ ◷ センサーコントロールにタッチします。

◷ センサーコントロールが点灯します。

∨∧ センサーコントロールで、**開始時間**、**終了時間** および EcoStart 機能、または使用可能な場合 SmartStart から選択できます。

■ *OK* で、選択した機能を確定します。

最後に設定した時刻が表示され、「時」の数字が強調して表示されます。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して、タイマーで設定したい時刻を入力し、*OK* で確定します。

時刻の設定中に、どの設定も適用せずに数秒間経過すると、ディスプレイは前のメニューに戻ります。この場合、再び設定する必要があります。

タイマーを有効にした数分後に、省エネのため、すべての表示がオフになります。

⏻ センサーコントロールを押すと、数分でディスプレイのスイッチがオンに戻ります。

Miele@mobile アプリ経由でタイマーを有効にすることも可能です。

開始時間の設定

開始時間 を選び、プログラムの開始時間をタイマーで設定します。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して「時」を入力し、*OK* にタッチして入力を確定します。

時間が保存され、「分」が強調して表示されます。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して分を入力し、*OK* をタッチして入力を確定します。

選択されたプログラムのために保存された開始時間が、数分間ディスプレイに表示されます。

設定された時間になると、選択されたプログラムが自動で開始されます。
残り時間がディスプレイに表示され、◷ センサーコントロールが消えて *Start（開始）* センサーコントロールが点灯します。

終了時間の設定

終了時間 を選び、選択したプログラムの終了時間を設定します。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して「時」を入力し、*OK* にタッチして入力を確定します。

時間が保存され、「分」が強調して表示されます。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して分を入力し、*OK* をタッチして入力を確定します。

選択されたプログラムのために推定された開始時間が、数分間ディスプレイに表示されます。

実行時間が長すぎるため設定された終了時間にプログラムを終了できない場合、メッセージがディスプレイに表示されます。設定可能な時間が表示されます。

■ これが表示された場合、*OK* でメッセージを確定します。

予測開始時間になると、選択されたプログラムが自動で開始されます。
残り時間がディスプレイに表示され、◷ センサーコントロールが消え、*Start（開始）* 表示ランプが点灯します。

EcoStart（エコスタート）の設定

EcoStart 機能を使用して、電気料金が安い時間帯に食器洗い機を使用することが可能です。これには、最大3つの電気料金の時間帯を事前に設定する必要があります（「設定—EcoStart（エコスタート）」を参照）。
次に、選択したプログラムを終了させたい時間を設定します。
設定時間内で最も経済的な電気料金の時間帯で、食器洗い機は自動で開始します。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して「時」を入力し、*OK* にタッチして入力を確定します。

時間が保存され、「分」が強調して表示されます。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して分を入力し、*OK* をタッチして入力を確定します。

選択されたプログラムのために推定された開始時間が、数分間ディスプレイに表示されます。

予測開始時間になると、選択されたプログラムが自動で開始されます。
残り時間がディスプレイに表示され、◷ センサーコントロールが消えて *Start（開始）* センサーコントロールが点灯します。

スマートスタートの設定（国によって使用できない場合がございます）

電気料金が最も安い時間帯に、自動で食器洗い機を開始するために SmartStart 機能が使用されます。

この機能を使用するには、追加の技術的なアクセサリーが必要になります。

SmartStart 機能を **設定** ⚑ メニューで有効にした場合、*タイマー* ◷ メニューでの EcoStart 機能の表示は停止しますが、代わりに SmartStart を表示します（「設定—Miele@home」を参照）。

電力供給会社がこのサービスを提供している場合、電気料金が最も経済的な時に食器洗い機に信号を送信します。
この信号により、食器洗い機は動作を開始します。

選択したプログラムが終了すべき時刻を設定できます。次に食器洗い機は、選択したプログラムがその時刻に終了するために最低必要となる開始時間を計算し、電力供給会社からの開始信号を待ちます。

選択したプログラムが終了すべき時刻を設定します。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して「時」を入力し、*OK* にタッチして入力を確定します。

時間が保存され、「分」が強調して表示されます。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して分を入力し、*OK* をタッチして入力を確定します。

メッセージ SmartStart待機 がディスプレイに表示されます。
Start（開始） センサーコントロールが数分間点灯します。

電力供給会社からの信号を受信するか、最終開始時間に達するとすぐに、選択したプログラムは自動で始動します。

残り時間がディスプレイに表示され、◷ センサーコントロールが消えて *Start（開始）* センサーコントロールが点灯します。

タイマー時刻の変更/削除

設定した時間を変更または削除できます。

■ ◷ センサーコントロールにタッチします。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して、以前有効にしたタイマー機能を選択し、入力した時間を *OK* で確定します。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して、変更 または 削除 機能を選択して、*OK* で確定します。

変更 機能を *OK* で確定した後も、タイマーの設定時刻は変更可能です。

削除 機能を、*OK* で確定後、選択したプログラムの稼働時間がディスプレイに表示されます。
◷ センサーコントロールが消えて、*Start（開始）* センサーコントロールが点滅します。

この時点で、プログラムを実行するか、食器洗い機の電源を切ることができます。

タイマー稼働中に食器洗い機の電源を切ると、タイマーは停止します。

また、Miele@mobile アプリで設定した時間を変更または削除できます。

リモートスタート を有効にする

Miele@mobile アプリで食器洗い機を遠隔操作することが可能です。これには、まずアプリをスマホにインストールし、食器洗い機をお使いの WiFi ネットワークに接続し（「設定—Miele@home」を参照）、場合により **遠隔操作** を有効にする必要があります（「設定ーリモートコントロール」を参照）。

■ ⏻ センサーコントロールを使用して、食器洗い機の電源を入れます。

■ センサーコントロールにタッチします。

センサーコントロールが点灯します。

■ ⏻ センサーコントロールを使用して食器洗い機の電源を切ります。

これで、Miele@mobile アプリを使用して、食器洗い機の遠隔操作が可能になりました。

リモートスタートのオプションは、センサーコントロールで再度無効にするまで、有効のままになります。このオプションは、食器洗い機の電源を切って、再び入れた場合も、その間有効のままになります。

リモートスタートオプションが有効でない場合も、Miele@mobile アプリで食器洗い機のステータスを確認し、設定を適用できます。

食器洗い機の *Start（開始）* センサーコントロールを使用してプログラムを開始する場合、リモートスタートオプションは、プログラムが実行されている間、自動で有効になり、センサーコントロールが点灯します。

プログラム早見表

食器類	汚れ	プログラムの特徴
熱に弱いお皿やグラス、プラスチック	少し乾いた通常の汚れ	グラスケアを含むプログラム
様々な食器類	通常の汚れ全般	センサーで自動調整されるプログラム
	少し乾いた通常の汚れ	所要時間が1時間以内の短いプログラム
	乾いた通常の汚れ	水と電力を節約するプログラム
鍋、フライパン、日用食器類およびカトラリー	デンプン質やタンパク質を含む頑固こびりついた、または焦げ付いた汚れ[1]	洗浄力が最大のプログラム

[1] ポテト、パスタ、ご飯やシチューなどはデンプン質がこびりつきます。
肉や魚などはタンパク質が残ります。

プログラム[2]	目安[3]
ジェントル 45 °C	消費電力 消費水量 プログラム所要時間
自動 45–65 °C	消費電力 消費水量 プログラム所要時間
QuickPowerWash 65 °C （クイックパワーウォッシュ）	消費電力 消費水量 プログラム所要時間
ECO 50 °C	消費電力 消費水量 プログラム所要時間
インテンシブ 75 °C	消費電力 消費水量 プログラム所要時間

[2] すべてのプログラムは、「Express（エクスプレス）」または「IntenseZone（インテンスゾーン）」プログラムオプションとの組み合わせが可能です。

[3] 目安は選択された設定やプログラムオプション、
または機器が使用される条件によって異なります。

プログラム早見表

プログラム	工程				
	予備洗い	本洗い °C	中間すすぎ	最終すすぎ °C	乾燥
ECO 50°C[1]	-	50	✓	46	✓
自動 45-65°C	調整可能な工程、 食器の量や汚れの程度に合わせてセンサーで調整				
	必要に 応じて	45–65	✓	55–70	✓
ジェントル 45°C	✓	45	✓	55–70	✓
エクストラクワイエット 55°C	-	55	✓	55–70	✓
QuickPowerWash（クイックパワーウォッシュ） 65°C	-	65	✓	55–70	✓
高温洗浄・すすぎ 70°C	-	70	✓	75	✓
インテンシブ 75°C	✓	75	✓	55–70	✓
PowerWash（パワーウォッシュ） 60°C	✓	60	✓	55–70	✓
ソーラーセーブ	✓✓	✓	✓	✓	✓
庫内洗浄	-	75	✓✓	70	✓

[1] このプログラムは、通常の汚れの食器を洗浄する場合の節電および節水に最も効率的です。

消費量[2]				
電力量		水	時間	
水道水 15 ° C kWh	給湯 60 ° C kWh	リットル	水道水 15 ° C h:min	給湯 60 ° C h:min
0.70	0.47	7.5	3:58	3:41
0.70–1.15[3.4]	0.45–0.60[3.4]	6.0–11.5[3.4]	1:55–3:29	1:47–3:13
1.00	0.45	11.5	2:38	2:20
1.05	0.65	9.0	3:53	3:42
1.15	0.70	10.5	1:25	1:15
1.45	1.00	9.0	2:14	2:02
1.40	0.90	12.5	3:04	2:55
1.10	0.55	11.5	2:19	2:04
-	0.07	25.5	-	2:48
1.70	0.95	18.5	2:10	1:47

[2] *ECO（エコ）* プログラムの数値は、標準試験条件で算出したものです。残りのプログラムの数値は、同等の試験条件で算出されました。
実際には、選択した設定、プログラムオプション、または使用条件によって、数値が異なる場合があります。

[3] 最小の値：軽い汚れを半分入れた場合

[4] 最大の値：汚れのひどいものを満杯に入れた場合

追加プログラム

PowerWash（パワーウォッシュ） 60 ° C

通常の食器の汚れで、様々な食器を洗浄するためのプログラム。

エクストラクワイエット 55 ° C

非常に静かなプログラムで所要時間は長くなります。少し乾いた通常の汚れで、様々な食器を洗浄するためのプログラム。

ソーラーセーブ

食器洗い機が 45 ° C 以上の給湯器に接続されている場合、水を温めず作動するプログラム（「設置—給水」を参照）。このプログラムは、少し乾いた通常の汚れの様々な食器を洗浄するのに適しています。

高温洗浄・すすぎ 70 ° C

少し乾いた通常の汚れで耐久性のある食器類のための特別プログラム。哺乳瓶やまな板など衛生的な洗浄が必要なアイテム用。

庫内洗浄

庫内は、大部分が使用過程で汚れが落ちます。汚れが庫内で蓄積した場合は、庫内洗浄 プログラムでクリーニングしてください。食器洗い機に食器を入れないでください。このプログラムは、ミーレケア製品（食器洗い機庫内洗浄剤など）を使用して庫内を洗浄するためのものです。（「オプション—食器洗い機のお手入れ製品」参照）。パッケージの記載に従ってください。食器洗い機ケア製品を使用するときは、洗剤を入れないでください。このため、洗剤自動投入機能（機種によって搭載されていない場合があります）は、このプログラムを実行するときに無効にしてください。

プログラムオプションの選択

プログラムを調節するために、プログラムオプションを選択できます。

プログラム開始前に、プログラムオプションを選択または選択解除できます。

■ ⏻ センサーコントロールを使用して、食器洗い機の電源を入れます。

Start（開始） センサーコントロールが点滅します。

■ 必要に応じて、別のプログラムを選択します。

■ 必要なプログラムオプションのセンサーコントロールをタッチします。

プログラムオプションが選択したプログラムで使用可能な場合、関連するセンサーコントロールが点灯します。

プログラムオプションが選択されたプログラムと互換性がない場合、それを示すメッセージがディスプレイに表示されます。

■ このとき、*OK* でメッセージを確定します。

■ *Start（開始）* センサーコントロールを押して、プログラムを開始します。

設定が変更されるまで、選択したプログラムオプションは特定のプログラムで有効のまま維持されます。

IntenseZone（インテンスゾーン）

IntenseZone（インテンスゾーン） プログラムオプションは、下段バスケットの洗浄能力を向上させます。

下段バスケット洗浄時間の延長と温度の上昇により、電力消費量が増加します。

Express（エクスプレス）

Express（エクスプレス） プログラムオプションは、プログラムの所要時間を短縮します。

最適な洗浄効果を得るために、このオプションでは温度とそれに伴う電力消費量が増加する場合があります。

短縮されるプログラム所要時間は、選択したプログラムによって異なります。

Express（エクスプレス） プログラムオプションを選択すると、選択した他のオプションより優先される場合があります。

食器洗い機の状態を定期的（およそ 4–6 ヶ月ごと）にチェックしてください。これにより、故障や不具合を防ぐことができます。

⚠ 不適切な洗剤による損傷。
表面は傷つきやすくなっています。不適切な洗剤を使うことにより表面が変質または変色する恐れがあります。
表面に適した成分の洗剤だけを使用してください。

庫内のクリーニング

庫内は、常に正しい量の洗剤が使用されている場合は、自然にクリーニングされています。

低温での洗浄プログラム (< 50 ° C) を頻繁に使用すると、庫内に汚染や不快な臭いが発生するおそれがあります。*インテンシブ75 ° C* プログラムを1か月に1回実行して庫内を洗浄し、臭気が発生するのを防いでください。

ただし、カルキや油汚れなどが付着している場合は、 **庫内洗浄** プログラムを使用して、食器洗い機洗浄剤 (「オプション – 食器洗い機のお手入れ製品」を参照) で汚れを落としてください (「プログラム早見表 – 追加プログラム」を参照)。パッケージの記載に従ってください。

ミーレのお手入れ用品は、ミーレのカスタマーサービス、ミーレのオンラインショップや販売代理店でご注文いただけます。

■ 庫内のフィルターを定期的に洗浄してください。

ドアとドアパッキンのクリーニング

ドアパッキンとドアの両サイドはスプレーアームの水が届きません。そのため、この部分にカビが発生する場合があります。

■ ドアパッキンを湿った布で定期的に拭いて、付着した残菜を取り除いてください。

■ 食器洗い機のドアの両サイドに滴り落ちた残菜や飲み物の汚れを拭き取ります。

操作パネルのお手入れ

■ 操作パネルは、湿らせた布 **のみで**拭きます。

食器洗い機表面のクリーニング

⚠ 汚れによる損傷。
汚れを放置しておくと落とせなくなる可能性があり、表面が変形または変色する原因になります。
このため、汚れたらすぐに拭き取ってください。

■ きれいなスポンジとぬるま湯に溶かした食器用台所洗剤で本体表面を掃除します。お掃除後、柔らかい布で表面を拭き、乾かします。
湿らせたマイクロファイバークロスを、洗剤をつけずにご使用になれます。

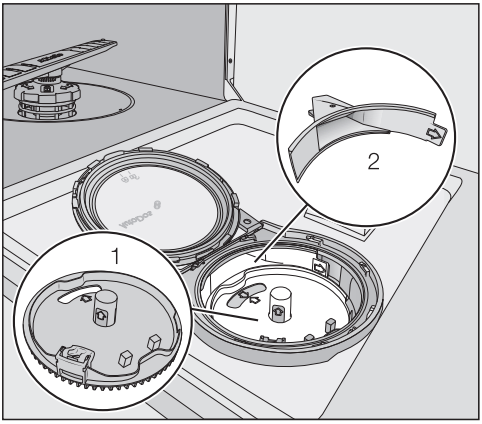
表面の破損を避けるために、次の洗剤は使用しないでください：

- ナトリウム化合物、アンモニア、酸、塩素系漂白剤を含む洗剤
- カルキ除去剤を含む洗剤
- 粉末またはクリーム状クレンザー、軽石などの研磨材を含む洗剤
- 溶剤を含む洗剤
- ステンレス用の洗剤
- 食器洗い機用庫内洗浄剤（インテンスクリーン）
- オーブンクリーナー
- ガラス用クリーナー
- 研磨剤入りの硬いスポンジやブラシ。例: たわしや過去に研磨洗剤を付けて使用したことのあるブラシとスポンジなど。
- メラミンスポンジ
- 鋭利な金属製スクレイパー
- 金属たわし
- スチームクリーナー

AutoDos（オートドス）の清掃

注入チャネルが汚れていないか定期的にチェックし（パワーディスクが空になるおよそ 2、3ヶ月ごと）、必要に応じて清掃します。これは、AutoDos（オートドス）が正常に動作し続けるために役立ちます。

AutoDos（オートドス）が最適な状態で動作するように、パワーディスクを交換するたびに点検し、必要に応じて清掃してください。

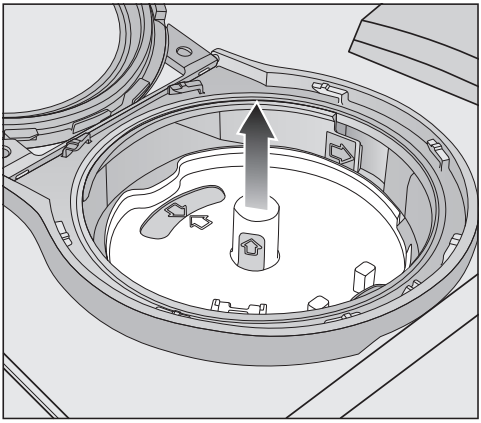


1 パワーディスクホルダー

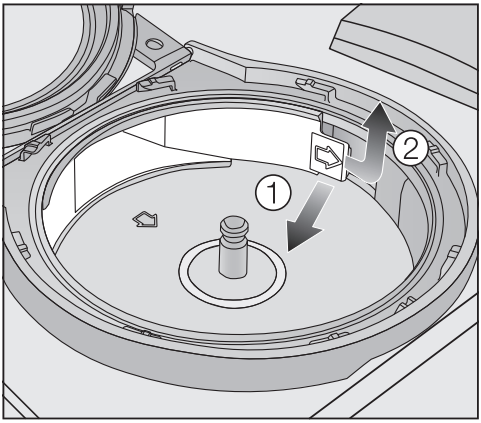
2 パワーディスクから庫内に洗剤を投入するための注入チャネル

■ AutoDos（オートドス）のカバーを回して 🔓 開けます。

■ 必要な場合、パワーディスクを取り外します。



■ パワーディスクホルダーを黄色いタブを引き上げて取り外します。この時、側面のタブに触れないでください。



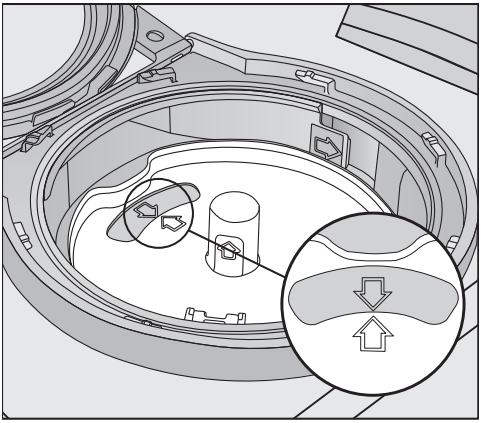
■ タブ（矢印を参照）① を上に持ち上げ注入チャネルを引き出して外します②。

■ 必要に応じて、水と柔らかいブラシで注入チャネルを洗浄します。

清掃中、絶対に AutoDos（オートドス）システムの内部に湿気が浸入しないようにしてください。

■ 粉末洗剤が固まらないように、注入チャネルを完全に乾かしてください。

■ タブが所定の位置にカチッとはまるまで、再度注入チャネルを挿入します。



■ パワーディスクホルダーと表示ウィンドウの両矢印が合うように、ホルダーを元の位置に戻します。ホルダーは平らに置いてください。

粉末洗剤が湿って固まらないように、AutoDos（オートドス）のカバーをしっかりと閉めてください。
すべてのシールが汚れていないことを確認します。

■ パワーディスクをセットします。

■ AutoDos（オートドス）のカバーを閉め、カバーのハンドルが 🔒 シンボルのすぐ下にくるまで回します。（「洗剤—パワーディスクのセット」を参照）。

AutoDos（オートドス）の洗剤排出口が完全に洗い流されていることを確認するために、下段スプレーアームに詰まりがないか定期的に確認します（「掃除とお手入れ—スプレーアームの清掃」を参照）。

スプレーアームの清掃

食べ物のカスがスプレーアームのノズルとねじに詰まる場合があります。このため、スプレーアームを定期的に点検する必要があります(2–4 か月に1回)。

スプレーアームなしで洗浄プログラムを実行しないでください。

⚠ 循環システムに入り込んだ汚れによる損傷。

フィルターを使用しないと、ゴミやカスが循環システムに入り込んで詰まります。

下段スプレーアームやフィルターのない状態で洗浄プログラムを実行しないでください。

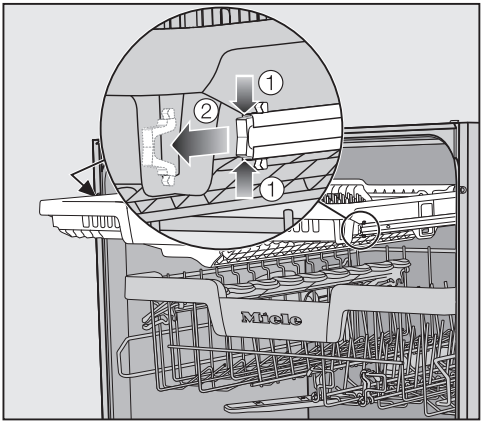
フィルターやスプレーアームを掃除するときは、ゴミやカスが循環システムに落下しないように注意してください。

■ 食器洗い機の電源を切ってください。

カトラリートレイを外す（搭載されている場合）

上段スプレーアームを外すには、まずカトラリートレイを外す必要があります 。

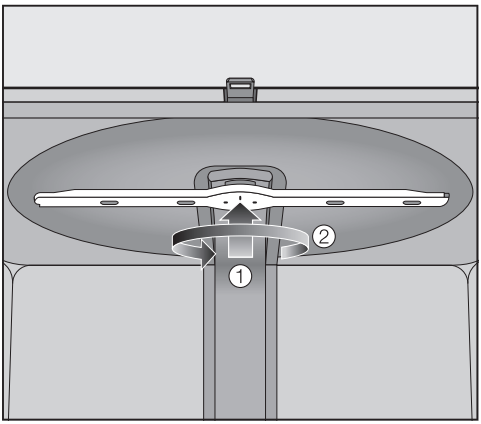
■ カトラリートレイを外します。



■ カトラリートレイの両側にあるレールの安全クリップを同時に ① 押して、安全クリップ ② を外します。

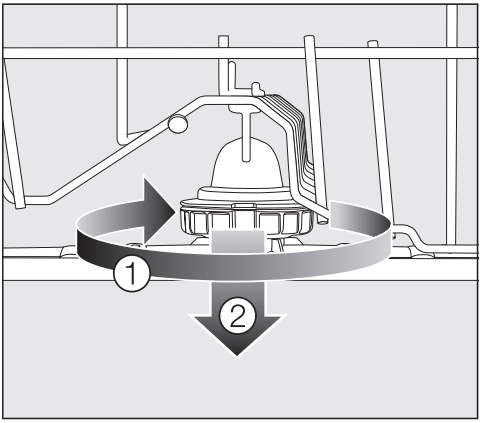
■ カトラリートレイを外します。

上段スプレーアームの取り外し



■ 上段スプレーアームを上方向 ① に押して、内側の歯止めに噛み合わせます。ネジを反時計回り ② に回して、スプレーアームを外します。

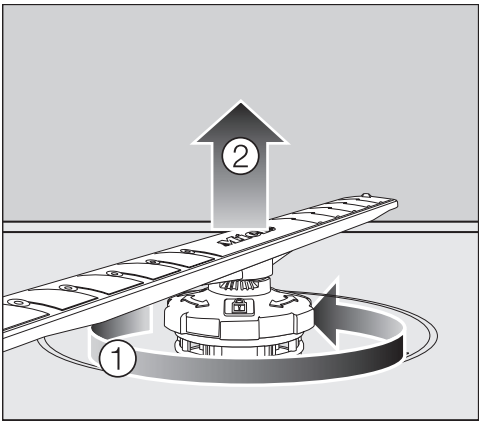
中段スプレーアームの取り外し



■ 中段スプレーアームのネジを時計回り ① に回転させて、スプレーアームを外します ②。

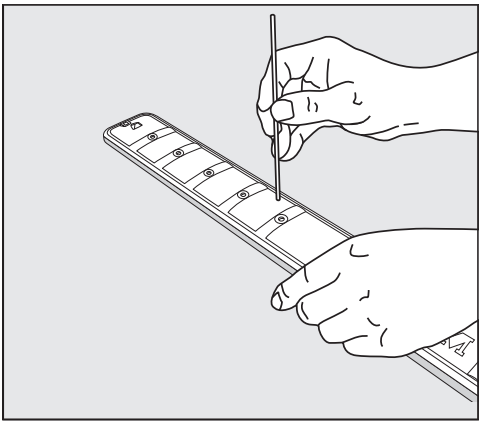
下段スプレーアームの取り外し

■ 下段バスケットを外します。



■ 下段スプレーアームのネジを反時計回り ① に回転させ、スプレーアームを引き上げて外します ②。

スプレーアームの清掃



■ 先の尖ったものを使って食べ物のカスをスプレーアームのノズルから押し出します。

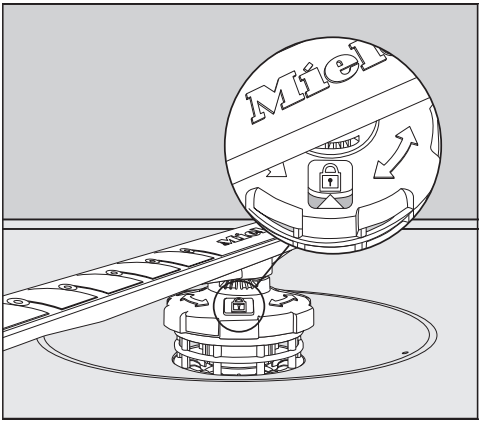
■ スプレーアーム全体を流水ですすぎます。

スプレーアームの取り付け

■ 上段スプレーアームを元の位置に戻し、手で締め付けます。

■ 中段スプレーアームを元の位置に戻します。

■ 下段スプレーアームを元の位置に戻し、フィルターを庫内の底に水平に置きます。



■ ウィンドウの矢印がロックシンボル 🔒 を指すまで、下段スプレーアームのネジを時計回りに回転させます。

■ スプレーアームが問題なく回転することを確認してください。

⚠ 循環システムに入り込んだ汚れによる損傷。

下段スプレーアームは、フィルターの固定に使用されます。フィルターを使用しないと、大きなゴミやカスが循環システムに入り込んで詰まります。

下段スプレーアームやフィルターのない状態で洗浄プログラムを実行しないでください。

カトラリートレイの取付

■ カトラリートレイを正面からスライドさせてレールに戻します。

■ カトラリートレイの両側のレールに安全クリップを取り付けます。

庫内のフィルターチェック

庫内の底のフィルターは大きなゴミやカスをキャッチします。汚れが循環システムへ入り込んだり、スプレーアームを通じて庫内に再度戻ることを防ぎます。

⚠ 循環システムに入り込んだ汚れによる損傷。
フィルターを使用しないと、ゴミやカスが循環システムに入り込んで詰まります。
下段スプレーアームやフィルターのない状態で洗浄プログラムを実行しないでください。
フィルターやスプレーアームを掃除するときは、ゴミやカスが循環システムに落下しないように注意してください。

フィルターは、長期間蓄積した汚れによって詰まる可能性があります。汚れの程度やフィルターの掃除が必要になるまでの期間は、使用の程度によって異なります。

プログラムを 50 回実行するごとに、メッセージ フィルターチェックして下さい がディスプレイに表示されます。

■ フィルターをチェックします。

■ 必要に応じて清掃します。

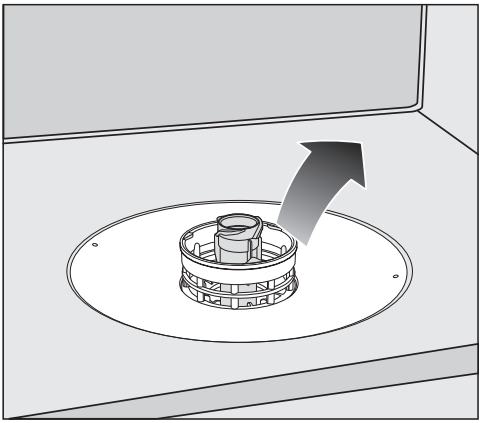
■ メッセージを *OK* で確定します。

フィルターの掃除

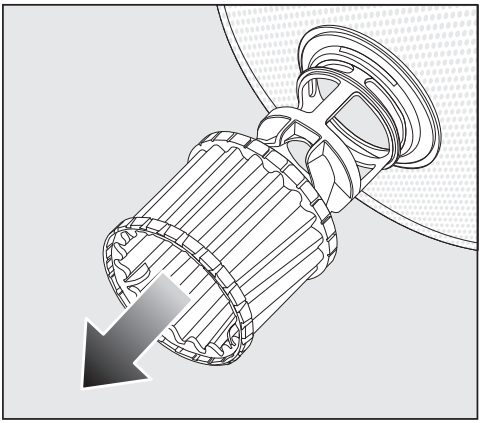
■ 食器洗い機の電源を切ってください。

■ 下段スプレーアームを取り外します（「掃除とお手入れ—スプレーアームの清掃」を参照）。

■ フィルターを取り外す前に、ゴミやカスが循環システムに侵入しないように、ひどい汚れを除去します。



■ フィルターを取り外します。



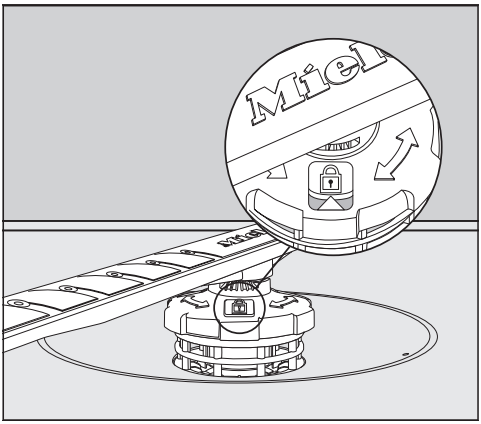
■ フィルター内部を掃除するために、リング形状のプラスチックのマイクロフィルターを引き下げ、フィルターコンビネーションから外します。

■ すべての部品を流水ですすぎます。
必要な場合は、柔らかいクリーニングブラシを使用して汚れを取り除いてください。

■ マイクロフィルターをフィルターコンビネーションに差し込みます。

■ フィルターを庫内の底に水平に設置します。

■ ネジで、下段スプレーアームをフィルターに再び固定します。



■ ウィンドウの矢印がロックシンボル 🔒を指すまで、ネジを時計回りに回転させます。

⚠ 循環システムに入り込んだ汚れによる損傷。

下段スプレーアームは、フィルターの固定に使用します。フィルターを使用しないと、大きなゴミやカスが循環システムに入り込んで詰まります。

下段スプレーアームやフィルターのない状態で洗浄プログラムを実行しないでください。

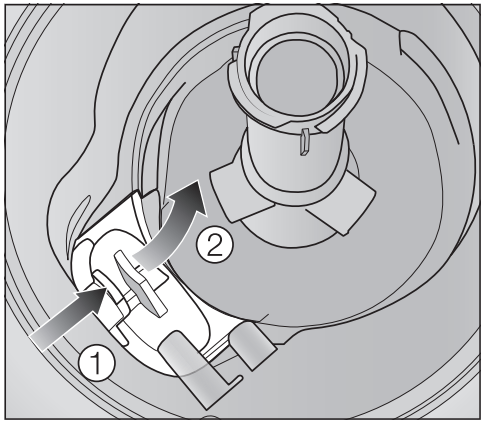
排水ポンプの清掃

プログラム終了後、水が庫内に残っている場合、ポンプで水が汲みだされなかったことを意味します。排水ポンプに異物が詰まっている可能性があります。このような異物は簡単に取り除けます。

■ 食器洗い機から電源を切断してください。電源からの切断は、まず食器洗い機の電源を切り、電源プラグを抜きます。

■ 庫内からフィルターを取り出します（「掃除とお手入れ—フィルターの掃除」を参照）。

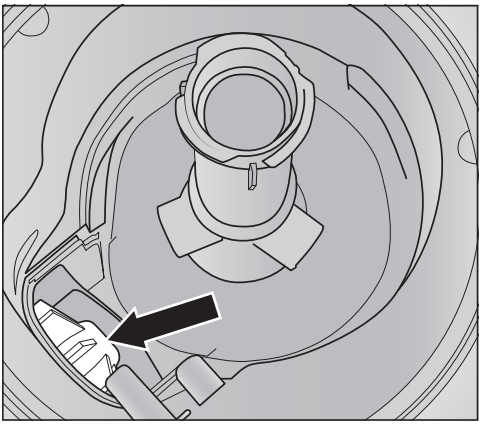
■ 小さい容器や器具を使って、庫内から水を汲みだします。



■ 排水ポンプのカバーのキャッチを内側に押します ①。

■ カバーが外れるまで、カバーを内側に傾けます ②。

■ カバー全体を流水ですすぎ、すべての異物を取り除きます。



排水ポンプ（矢印を参照）は、カバーの下にあります。

⚠ ガラスの破片で怪我をするリスクがあります。
排水ポンプ内のガラスの破片を識別するのは非常に困難です。
排水ポンプを清掃するときはご注意ください。

■ 排水ポンプからすべての異物を慎重に取り除きます。排水ポンプのインペラーを手で回転させて確認します。インペラーを回転させる時、若干抵抗があります。

■ カバーを上から下に垂直に降ろして元の位置に取り付けます。

キャッチが適切に噛み合っていることを確認してください。

⚠ 誤った洗浄による損傷。
部品はデリケートで、清掃中に破損する可能性があります。
排水ポンプを清掃するときはご注意ください。

日常の使用で発生する本体の性能に関する小さな不具合などは、間違った操作が原因の場合もあります。

以下のトラブルシューティングガイドにより、故障の原因を見つけ、直すことが出来る場合があります。ただし、次の注意点には十分ご留意ください。修理およびその他の作業を非専門技術者が行った場合、使用中に大きな危険を引き起こす可能性があります。電気機器の修理は、必ず地域および国の安全基準に厳密に従って、適任な有資格者が行わなければいけません。

この章には、自分で対策できる故障のみが記載されています。その他の全ての故障は、⚠ 故障 FXX に記載されています。

技術的な問題

問題	原因および対策
食器洗い機の電源が ⏻ センサーコントロールで入れた後も、ディスプレイが点灯しない。	本製品の電源プラグが入っていません。 ■ プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れます。
	ヒューズが切れています。 ■ ブレーカーを戻すか、プラグのヒューズを交換します（定格消費電力については型式表示シールを参照）。 ■ ブレーカーが再度落ちる場合は、ミーレのカスタマーサービスに連絡してください。
プログラム実行中に食器洗い機が停止した。	ヒューズが切れています。 ■ ブレーカーを戻すか、プラグのヒューズを交換します（定格消費電力については型式表示シールを参照）。 ■ ブレーカーが再度落ちる場合は、ミーレのカスタマーサービスに連絡してください。

エラーメッセージ

問題	原因および対策
警告ブザーが鳴っている。以下のエラーメッセージのいずれかがディスプレイに表示される：	問題を解決する前に： ■ 食器洗い機の電源を切ってください。
⚠ エラー FXX	技術的な障害が発生している場合があります。 ■ 数秒後、食器洗い機の電源を入れてください。 ■ ご希望のプログラムを再度開始します。 エラーメッセージが再び表示される場合、技術的な問題が発生しています。 ■ 食器洗い機の電源を切ってください。 ■ 止水栓を閉めます。 ■ ミーレのカスタマーサービスまでお問い合わせください。
ウオータープルーフ	ウォータープルーフシステムが反応しました。 ■ 食器洗い機の電源を切ってください。 ■ 止水栓を閉めます。 ■ ミーレのカスタマーサービスまでお問い合わせください。
⚠ エラー F78	循環ポンプのエラー。 ■ 食器洗い機の電源を切ってください。 ■ 食器洗い機の電源を入れて下さい。 ■ ご希望のプログラムを再度開始します。 エラーメッセージが再び表示される場合、技術的な問題が発生しています。 ■ 食器洗い機の電源を切ってください。 ■ 止水栓を閉めます。 ■ ミーレのカスタマーサービスまでお問い合わせください。

ドアのエラー

問題	原因および対策
警告ブザーが鳴っている。以下のエラーがディスプレイに表示される：	問題を解決する前に： ■ 食器洗い機の電源を切ってください。
⚠ エラー F33	ドアが自動で開かない。 技術的な障害が発生している場合があります。 ■ 手動でドアを開けて（「初めてお使いになる前に—ドアを開ける」を参照）、食器洗い機の電源を切り、再び電源を入れます。 ■ 同じエラーメッセージが再び表示されたら、ミーレのカスタマーサービスまでお電話でお問い合わせください。
	ドアを開けた後で、ドアのアシストガイドが引っ込まない。 技術的な障害が発生している場合があります。 ■ 食器洗い機の電源を入れて下さい。 ■ 同じエラーメッセージが再び表示されたら、ミーレのカスタマーサービスまでお電話でお問い合わせください。

給水のエラー

問題	原因および対策
警告ブザーが鳴っている。以下のメッセージのいずれかがディスプレイに表示される：	
蛇口を開けて下さい	止水栓が閉まっています。 ■ 止水栓を完全に開けます。
給水	問題を解決する前に： ■ 食器洗い機の電源を切ってください。
	給水が制限されています。 ■ 止水栓を完全に開けて、プログラムを再度開始してください。 ■ 給水圧力は が0.1Mpaより低くなっています。専門業者にご相談ください。 ■ 排水の接続圧力が低すぎる可能性があり、排水する必要があります（「設置—排水」を参照）。
⚠ エラー F18	技術的エラーが発生。 ■ 食器洗い機の電源を切ってください。 ■ 止水栓を閉めます。 ■ ミーレのカスタマーサービスに電話でご連絡ください。
ソーラーセーブ **プログラム実行中に、以下のエラーメッセージがディスプレイに表示される：** 給水温度が 低すぎます	給水温度が、必要とされる 45 ° C に達していません（「設置—給水」を参照）。 ■ プログラムを再び開始します。 ■ エラーメッセージが再度表示される場合は、別のプログラムを選択してください。

排水のエラー

問題	原因および対策
警告ブザーが鳴っている。メッセージ 排水 がディスプレイに表示される。	問題を解決する前に： ■ 食器洗い機の電源を切ってください。
	排水のエラー。 庫内に水がたまっている可能性があります。 ■ フィルターを掃除します（「掃除とお手入れ—フィルターの掃除」を参照）。 ■ 排水ポンプを掃除します（「掃除とお手入れ—排水ポンプの清掃」を参照）。 ■ 排水ホースのよじれを直します。

AutoDos（オートドス）／洗剤自動投入の故障

問題	原因および対策
メッセージ PowerDiskセット または OKで AutoDosオフ **がディスプレイに表示される。**	*AutoDos（オートドス）* 機能は有効になっていますが、パワーディスクがセットされていません。 ■ パワーディスクをセットします（「洗剤―洗剤自動投入/AutoDos（オートドス）」を参照）。 ■ AutoDos（オートドス）機能を使用しない場合は、*OK*、または *AutoDos（オートドス）* センサーコントロールでこの機能を無効にしてください。
警告ブザーが鳴っている。プログラムが開始しない、またはすでに開始したプログラムが停止した。 **メッセージ** AutoDosフタオープン **がディスプレイに表示される。**	カバーが適切に閉まっていません。 ■ AutoDos（オートドス）のカバーを閉めて、完全にロックします（「洗剤―洗剤自動投入/AutoDos（オートドス）」を参照）。 ■ カバーが完全に閉まらない場合は、パワーディスクホルダーが平らに置かれているかどうか確認します（「洗剤―パワーディスクのセット」を参照）。 ■ 同じエラーメッセージが再び表示されたら、ミーレのカスタマーサービスまでお電話でお問い合わせください。
メッセージ PowerDisk 空. OKで AutoDosオフ **がディスプレイに表示される。**	*AutoDos（オートドス）* 機能が有効になっていますが、パワーディスクが空です。 ■ パワーディスクを交換します（「洗剤―洗剤自動投入/AutoDos（オートドス）」を参照）。 AutoDos（オートドス）機能を使用しない場合は、*OK*、または *AutoDos（オートドス）* センサーコントロールでこの機能を無効にしてください。
新しいパワーディスクを挿入した後も、メッセージが PowerDisk 空. OKで AutoDosオフ**ディスプレイに表示される。**	パワーディスクを交換する時に、食器洗い機のスイッチがオフになっていると、機器は新しいパワーディスクを認識できません。 ■ パワーディスクを交換する前に、食器洗い機の電源を入れます（「洗剤自動投入/AutoDos（オートドス）―パワーディスクのセット」を参照）。

問題	原因および対策
プログラムの最後にアラームが鳴り、ディスプレイに次のメッセージが表示される： ⚠ エラー F 601	AutoDos（オートドス）で故障が発生しました。 ■ 食器洗い機の電源を切り、再び入れます。 ■ パワーディスクホルダーとパワーディスクが適切に取り付けられていることを確認してください（「洗剤—洗剤自動投入/AutoDos（オートドス）」を参照）。 ■ *AutoDos（オートドス）* 機能を有効にして、プログラムを再開します。 エラーメッセージが再び表示される場合、技術的な問題が発生しています。*AutoDos（オートドス）* センサーコントロールでこの機能を無効にし、洗剤投入口に洗剤を手で投入して、食器洗い機の使用を続行できます。 ■ AutoDos（オートドス）を再び使用したい場合は、ミーレサービスにご連絡ください。
プログラムの最後にアラームが鳴り、ディスプレイに次のメッセージが表示される： AutoDos メンテナンス **プログラム終了時に食器洗い機のスイッチがオフにならない。** **洗剤の量が足りないため、食器類に汚れが残っている可能性がある。** **プログラム中に** ***AutoDos（オートドス）*** **機能が自動で無効にされる。**	空のパワーディスクがセットされたか、AutoDos（オートドス）が洗剤の残りが詰まっています。洗剤の投入量が不足しています。 *AutoDos（オートドス）* 機能が自動で無効にされました。 ■ 食器洗い機の電源を切り、再び入れます。 ディスプレイに表示される複数のメッセージ。 ■ AutoDos（オートドス）の注入チャネルを清掃してください（「掃除とお手入れ—AutoDos（オートドス）の清掃」を参照）。 ■ 下段スプレーアームを清掃します（「掃除とお手入れ—スプレーアームの清掃」を参照）。 ■ *OK* を選択して、メッセージを確認します。 ■ *AutoDos（オートドス）* 機能を有効にするために、メッセージ AutoDos 可能 を *OK* で確定します。 ■ プログラムを再び開始します。 プログラム所要時間は、AutoDos（オートドス）洗剤排出口の洗浄のために最大2時間半延長されます。

スプレーアームの故障

問題	原因および対策
プログラム実行中と終了時にアラームが鳴り、ディスプレイに次のメッセージが表示される： スプレーアームチェック **プログラム終了時に食器洗い機のスイッチがオフにならない。洗剤が入っていなかったので、食器類に汚れが残っている可能性がある。プログラム実行中に、** ***AutoDos（オートドス）*** **機能が自動で無効にされる。**	下段スプレーアームがブロックされているか、下段スプレーアームのノズルが詰まっています。AutoDos（オートドス）洗剤排出口を完全に洗い流せないため、プログラム実行中に *AutoDos（オートドス）* 機能が自動で無効にされています。 ■ 食器洗い機の電源を切り、再び入れます。 ディスプレイにメッセージが表示されます。 ■ 下段スプレーアームの回転をチェックし、スプレーアームが食器類に当たっている場合は入れ直します。 ■ 下段スプレーアームを清掃します（「掃除とお手入れ—スプレーアームの清掃」を参照）。 ■ *OK* を選択して、メッセージを確認します。 ■ プログラムを再び開始します。

一般的な問題

問題	原因および対策
表示ランプとディスプレイが点灯しない。	省エネのため、食器洗い機の電源は自動でオフになります。 ■ ⏻ センサーコントロールを使用して、食器洗い機の電源を再び入れます。
プログラムの終了時に洗剤コンテナに洗剤が残る。	洗剤を投入した時に、洗剤コンテナが濡れていました。 ■ 洗剤コンテナが濡れている場合、洗剤を投入しないでください。
洗剤投入口の蓋が閉まらない。	洗剤の残りでつめがかみ合わなくなっています。 ■ 残った洗剤を取り除いてください。
プログラム終了時に、ドアの内側および庫内の壁が湿っている。	これは、乾燥システムによるもので故障ではありません。しばらくすると蒸気は消えます。
プログラム終了時に、水が庫内に残っている。	問題を解決する前に： ■ 食器洗い機の電源を切ってください。
	庫内のフィルターが詰まっています。 ■ フィルターを掃除します（「掃除とお手入れ—フィルターの掃除」を参照）。
	排水ポンプが詰まっています。 ■ 排水ポンプを掃除します（「掃除とお手入れ—排水ポンプの清掃」を参照）。
	排水ホースがよじれています。 ■ 排水ホースのよじれを直してください。

使用中の音

問題	原因および対策
庫内で何かにあたる音がする。	スプレーアームが食器にぶつかっています。 ■ ドアを慎重に開き、スプレーアームにあたっている食器を入れ直します。
庫内でガタガタと音がする。	庫内の食器類が安定していません。 ■ ドアを慎重に開き、食器類が安定するように入れ直してください。
	排水ポンプ内に異物（ガラスの破片など）があります。 ■ 排水ポンプから異物を取り除きます（「掃除とお手入れ—排水ポンプの清掃」を参照）。
給水管で何かに当たる音がする。	これは、現場での設置または排水管の交差が原因である可能性があります。 ■ 食器洗い機の機能には影響しません。設備の点検をご希望の場合は、適切な資格を持つ配管業者に連絡してください。

食器がきれいにならない

問題	原因および対策
食器がきれいになっていない。	食器類が正しくセットされていません。 ■ 食器類やカトラリーの入れ方の例は、「食器の入れ方」の章を参照してください。
	プログラムの選択が不適切でした。 ■ より強力なプログラムを選択してください（「プログラム早見表」の章を参照)。 ■ エクストラクリーン機能を有効にします（「設定 – エクストラクリーン」を参照)。
	手で投入した洗剤の量が十分ではありませんでした。 ■ 洗剤の量を増やすか、使用する洗剤を変えてください。
	食器類がスプレーアームを遮断しています。 ■ スプレーアームが自由に回転するかどうかチェックし、回転を妨げないように食器類を入れ直します。
	庫内のフィルターが汚れているか、正しく取り付けられていません。 スプレーアームのノズルの詰まりが原因である可能性があります。 ■ フィルターを洗浄するか正しく設置し直してください。 ■ 必要に応じて、スプレーアームノズルを洗浄します（「掃除とお手入れ – スプレーアームの清掃」を参照)。
ガラス製品やカトラリーに汚れがある。ガラス製品の表面に青みがかった光沢がある。その膜は拭き取ることができる。	乾燥仕上げ剤の投入量の設定が多すぎます。 ■ 投入量を少なくします（「設定—リンスエイド」を参照）。

こんなとき、どうしたらいい？

問題	原因および対策
食器類が乾いていない、またはカトラリーやグラスに斑点がついている。	乾燥仕上げ剤の投入量が少なすぎるか、乾燥仕上げ剤のコンテナが空です。 ■ 乾燥仕上げ剤のコンテナを補充し、投入量を増やすか乾燥仕上げ剤のメーカーを変えてください (「初めてお使いになる前に – 乾燥仕上げ剤（リンスエイド）」を参照)。
	食器類を庫内から取り出すのが早すぎます。 ■ 食器類をしばらく庫内に入れたままにします (「操作 – 食器の取り出し方」を参照)。
	選択したプログラムの乾燥時間が、食器類 (特にプラスチック食器) に対して十分ではありません。 ■ エクストラドライを選択してください (「設定 – エクストラドライ」を参照)。
	乾燥性能が十分ではない乾燥仕上げ剤入りの洗剤が使用されました。 ■ 別の洗剤に変えるか、乾燥仕上げ剤を補充してください (「初めてお使いになる前に – 乾燥仕上げ剤（リンスエイド）」を参照)。
ガラス製品が茶色または青色に変色した。膜は拭き取ることが出来ない。	洗剤の成分が堆積しました。 ■ 別の洗剤にすぐに換えてください。
ガラス製品の光沢が無くなり、退色した。膜は拭き取ることが出来ない。	そのガラス製品は食器洗い機で洗えません。表面が変化しました。 ■ 対応策はありません。 食器洗い機に適したガラス製品を購入してください。
紅茶や口紅の汚れが完全に落ちない。	選択したプログラムの洗浄温度が低すぎました。 ■ より高い洗浄温度のプログラムを選択してください。
	使用した洗剤の漂白効果が不十分でした。 ■ 別の洗剤に変えてください。
プラスチック製品が変色した。	ニンジン、トマト、ケチャップなどの天然色素が原因である可能性があります。使用した洗剤の量、またはその漂白効果が、天然色素に対して不十分でした。 ■ 洗剤量を増やしてください（「洗剤」の章を参照）。 すでに変色した部分は、元の色には戻りません。

問題	原因および対策
食器に白いカスが残る 。 ガラス製品やカトラリーに曇りがある。その膜は拭き取ることができる。	乾燥仕上げ剤の投入量の設定が低すぎます。 ■ 投入量を増やします（「設定―リンスエイド」を参照。）。
	不適切な配合洗剤が使用されました。 ■ 別の洗剤に変えてください。タブレットや粉末洗剤を使用する場合は、多機能な洗剤を選ばず、乾燥仕上げ剤を補充するようにしてください。
カトラリーにさびが生じている。	さびたカトラリーには腐食の耐性がありません。 ■ 対応策はありません。 食器洗い機に適したカトラリーを購入してください。

故障の際の連絡先

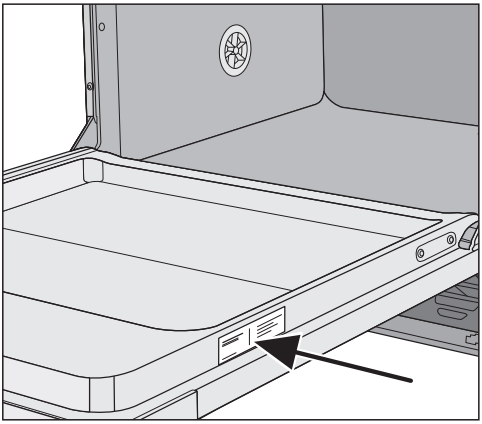
お客様では対応できない故障が発生した場合は、ミーレ代理店またはミーレコンタクトセンターにご連絡ください。

ミーレコンタクトセンターの連絡先情報は、本冊子の最終ページにあります。

トレーニングの目的で、電話による通話をモニターし、録音する場合がございます。また本冊子に記載されているようなお客様が対応できる故障でのサービス訪問でも、サービス料金が適用されることにご留意ください。

ミーレにご連絡いただく際は、お使いの機器の型番と製造番号をご用意ください。この情報は、型式表示シールに記載されています。

技術的データについては、ドアの右側にある型式表示シールをご覧ください。



保証条件と保証期間

ご使用の製品に同梱されている保証書を参照してください。ご不明な点がございましたら本冊子の最終ページに記載されている弊社コンタクトセンターまでお問い合わせください。

本製品の洗剤、乾燥仕上げ剤、お手入れ用洗剤は、オプション品として販売されています。
製品はすべて、ミーレの食器洗い機のために設計されています。

これらはミーレオンラインショップ、ミーレのカスタマーサービスまたはミーレ販売代理店よりご注文いただけます。

食器洗い機用洗剤と乾燥仕上げ剤（リンスエイド）

ミーレの食器洗い機をお買い上げいただいたということは、最高の品質と性能をお選びいただいたということです。常に最適な仕上がりを実現するために、適切な食器洗い機用製品を使用することが重要です。すべての市販の洗剤が、すべての食器洗い機で同じ仕上がりになるとは限りません。
そのためミーレでは、ミーレ食器洗い機専用の洗剤を用意しています。

パワーディスク

特別なミーレ配合洗剤 – AutoDos（オートドス）洗剤自動投入機能を搭載したミーレ食器洗い機で、素晴らしい洗浄効果を発揮します。

- ミーレ専用の粉末洗剤
- 乾燥仕上げ剤
- 銀製品とグラス保護成分配合
- 徹底的な洗浄のための活性酸素配合
- 強力な活性酵素配合 – 低い水温でも高い洗浄効果

タブレット洗剤

- 頑固な汚れを取り除き、輝くような洗い上がりに
- 乾燥仕上げ剤、グラス保護などの成分を配合
- リン酸塩無配合 – 環境に配慮
- 水溶性フィルムにより開封不要

乾燥仕上げ剤（リンスエイド）

- グラスを輝くような洗い上がりに。
- 食器の乾燥を促進
- 腐食を防ぐグラス保護成分配合
- 投入しやすい形状のキャップ

食器洗い機のお手入れ製品

ミーレのお手入れ用製品は、ミーレ食器洗い機を最適にケアします。

庫内洗浄剤（インテンスクリーン）

- 庫内洗浄 プログラムで使用
- 食器洗い機を効果的で徹底的に洗浄
- 油分、バクテリア、不快なにおいを除去
- 素晴らしい洗浄力を保証

カルキ除去剤

- 頑固な水アカを除去
- 中性で穏やかなクエン酸

庫内洗浄剤（ディッシュクリーン）

- におい、水アカ、軽い汚れを除去
- シールの弾力性や密閉性を維持

ミーレウォータープルーフシステム

食器洗い機が正しく取り付けられているかぎり、ミーレウォータープルーフシステムは万が一水が漏れても周辺設備へのダメージを防ぐことができます。

給水

⚠ 洗浄水よる健康へのリスク。
食器洗い機庫内の水は飲用水ではありません。
食器洗い機庫内の水は飲まないでください。

⚠ 汚染された給水による健康上、および機器の損傷のリスク。
使用する水の質は、この食器洗い機が使用される国の飲料水の基準に準拠している必要があります。
食器洗い機は飲料水用の給水に接続してください。

食器洗い機は冷水または給湯（最高 65 ° C）のどちらにも接続できます。
ソーラーエネルギーのような省エネの熱源を使用している場合、給湯接続をお勧めします。これにより、時間とエネルギーのコストの両方が削減されます。お湯はすべてのプログラムで使用されます。

ソーラーセーブプログラム（使用可能な場合）は、給湯温度が最低45℃から最大65℃までの温水に接続する必要があります。
給湯温度が高いほど、洗浄と乾燥の結果が向上します。

給水ホースの長さは、約1.5 mです。1.5 mの長さのフレキシブルメタル延長ホース（14,000 kPa/140 barでテスト済み）は、ミーレ専門代理店かミーレカスタマーサービスから、オプションのアクセサリーとしてご利用いただけます。

接続は設置施工手順書を参照してください。資格のある配管業者が本製品を給水に接続させてください。

水接続圧力は 100 から 1,000 kPa の間である必要があります。接続水圧が高すぎる場合、圧力減少バルブを取り付ける必要があります。

⚠ 水漏れによる損傷のおそれがあります。

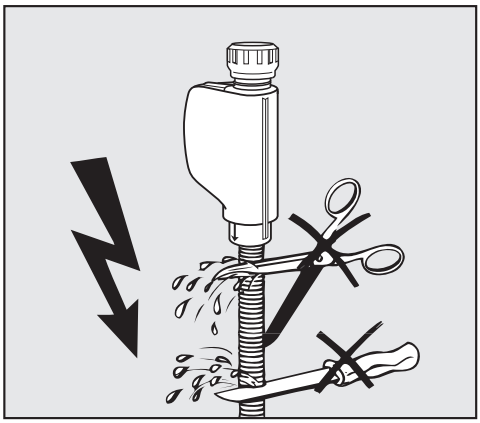
接続部分には、本管の水圧がかかります。接続部分からの水漏れは、損傷の原因になります。

このため、元栓はゆっくりと開き、漏れを確認してください。必要に応じて、ワッシャーの位置とネジを調整します。

⚠ 過剰な圧力による損傷のリスク。

水圧の短期間の上昇は食器洗い機の部品に損傷を与える可能性があります。

完全にエア抜きされた配水管に食器洗い機を接続した後でのみ、食器洗い機を操作してください。



⚠ 感電のリスクがあります。

給水ホースには、電気の流れる導線が取り付けられています。

絶対に給水ホースを切断したり、損傷を与えたりしないでください（図を参照）。

排水

食器洗い機の排水システムには逆流防止弁が備わっており、排水ホースから機器の内部に汚れた水が逆流することを防ぎます。

食器洗い機には、長さ約1.5 m、内径22 mmのフレキシブルな排水ホースが付属します。

排水ホースは、接続部品を取り付けて延長することができます。排水ホースの長さを 4 m 以上にすることはできません。また、ホースの最大よう程が 1 m を超えないようにしてください。

ホースを設置場所の排水部分に直接接続する場合、付属のホースクリップを使用してください。

ホースは機器の左側、または右側に向けることができます。

設置場所の排水ホース用コネクタは、直径の異なるホースに合わせて調整することができます。接続部が排水ホースに対して長過ぎる場合、短くする必要があります。そうしないと、排水ホースが詰まることがあります。

排水ホースをは切って短くしないでください。

排水ホースは、よじれたり、圧迫されたり、引っ張られたりしないようにします。

⚠ 水漏れによる損傷のおそれがあります。

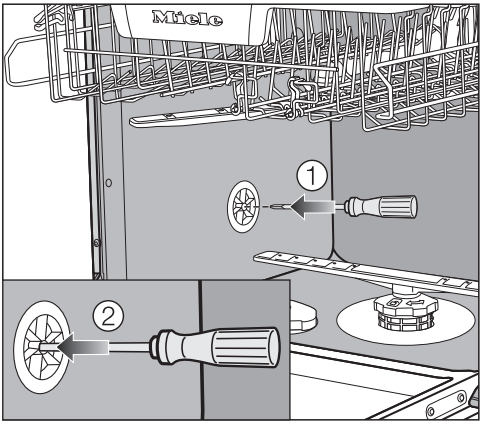
水漏れは、損傷の原因になります。

試運転の後で、水漏れがないことを確認してください。

排水口の通気

設置場所の排水接続がドア内の下段バスケットのローラーが通る部分よりも下にある場合、排水システムに通気口を設ける必要があります。そうしないと、プログラム中のサイフォン効果により水量不足を起こします。

■ 食器洗い機のドアを完全に開けてください。



■ 下段バスケットを取り外します。

■ 庫内左の壁にある通気バルブの中央開口部にドライバーを挿入します ①。

■ 開口部にドライバーをさらに深く押し入れ、背後のメンブレン ② を通して押し込みます。

排水の通気開口部がこれで開きました。

電源接続

⚠ 電源接続

電気配線等の作業は、すべて厳正に国および地域の電気設備基準にしたがって適任な有資格者が行わなければなりません。

無資格者による設置、修理、その他の工事は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。
設置または修理作業が完了するまで、本製品の電源を切ってあることを確認してください。
本製品は必ず正しく設置してから使用してください。すべての電気部品を確実に遮へいするには正しく設置する必要があります。充電部は露出させないでください。本製品を延長コードで電源と接続しないで ください。延長コードを使用した場合、本 製品の安全性は保証されません。

電圧、定格消費電力、周波数については、型式表示シールに記載してあります。これらの数値が屋内の主電源に一致していることを確認してください。

本製品の接続は、必ず電気設備基準に合ったブレーカーを経由して行ってください。

また、開閉スイッチは容易に点検できる位置に設けることが必要です。

〈重要〉

単相三線式200V 15A（アース付）専用コンセントコードにて納品されます。

コンセントの形状を確認の上、確実に接続してください。

〈警告〉

本製品は、必ず接地（アース）してください。

〈重要〉

本製品の電気的安全性は、電気設備基準に合った有効な接地を行って初めて約束できます。この基本的な安全基準を電気工事士がテストすることはとても重要なことです。
感電などの不十分な接地の結果に対する製造者責任は負いかねます。

直接的または間接的に、不正な設置や接続が行われた場合の被害・損害に対しては、いずれの場合も製造者責任を負いかねます。

技術データ

外形寸法	W598xD570xH805-870
ビルトイン開口寸法	W600xD580xH810-875
重量	最大 58 kg
電圧	型式表示シール参照
定格消費電力	型式表示シール参照
ヒューズ定格	型式表示シール参照
取得済み試験認定証	型式表示シール参照
給湯接続	最高 65 ° C
よう程	最大 1 m
排水ホースの長さ	最大 4 m
電源コード	約 1.7 m
作動給水圧	0.1-1Mpa
容量	洗浄容量：16人分*

スイッチがオフの時の 定格消費電力	0,3 W
スイッチがオンの時の 定格消費電力	5,0 W
ネットワークに接続したスタンバイモード	0,9 W
WiFi モジュールの周波数帯域	2.4000–2.4835 GHz
WiFi モジュールの最大送電	< 100 mW

*アジアで使用される食器を用いて測定

適合宣言

ミーレは、本製品が指令2014/53/EUに準拠していることを宣言します。

設定

設定を調整して、さまざまな要件に合わせて、食器洗い機の制御を変更することができます。

設定はいつでも変更できます。

設定メニューを開く

■ 食器洗い機の電源が入っていない場合、⏻ センサーコントロールで電源を入れます。

■ ⧉ その他のプログラム/設定にタッチします。

最初のその他のプログラムがディスプレイに表示されます。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して、設定⚑ メニューオプションを選択し、 *OK* で確定します。

設定メニューの最初のオプションが、ディスプレイに表示されます。

ディスプレイ機能についての詳細は、「各部の名称—ディスプレイ機能」を参照してください。

設定の変更

■ ∨∧ センサーコントロールで、変更したい設定のメニューオプションを選択し、*OK* で確定します。

すでに選択されているオプションの隣には、チェックマーク ✓ が付いています。

■ ∨∧ センサーコントロールで、ご希望の設定を選択し、 *OK* で確定します。

■ 再びサブメニューを終了するには、⮌ [戻る] のセンサーコントロールを使用します。

ディスプレイが設定メニューに変わります。

設定メニューを閉じる

■ ⮌[戻る]センサーコントロールにタッチします。

ディスプレイが、 ⧉ メニューに変わります。

言語 ⚑

ディスプレイはいくつかの言語のうちの1つの言語で表示されるように設定できます。

言語 ⚑ サブメニューで、ディスプレイで使用する言語と国を変更できます。

理解できない言語がすでに設定されている場合は、言葉の後のフラグ 言語 ⚑ がガイドとして機能します。
このような場合は、言語 ⚑ サブメニューに到達するまで、フラグの付いたメニューオプションを選択し続けます。

時刻

タイマーオプションを使用する前に、必ず現在の時刻を設定してください。

時刻表示の設定

24 時間表示か 12 時間表示のどちらかを選択できます。

■ 時刻表示 メニューオプションを選択します。

■ ご希望の設定を選択し、*OK* で確定します。

時刻の設定

現在の時刻を設定できます。

■ 設定 メニューオプションを選択します。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して時間を入力し、*OK* にタッチして入力を確定します。
次に「分」を設定して、*OK* で確定します。

これで、時刻が保存されました。

AutoDos（オートドス）

洗剤の投入レベルまたはパワーディスクの投入量を後で変更したい場合、パッケージに記載の説明に従って、設定された値を調整できます。

PowerDisk ほぼ空 メッセージを正しく表示するために、この設定は重要です。これらの設定は、各洗浄プログラムで投入される洗剤の量に影響を与えません。

補充量PowerDisk

現在、洗剤 400 g 入りのパワーディスクをご利用いただけます。

■ 補充量PowerDisk メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。

■ パワーディスクの投入量を入力し、*OK* で確定します。

洗剤投入量の設定

現在、洗浄 1 回当たり約 7 g の洗剤を投入するパワーディスクをご利用いただけます。

■ 洗剤投入量 メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。

■ パワーディスクの投入量を選択し、*OK* で確定します。

リンスエイド

最高の洗浄効果を得るために、乾燥仕上げ剤の量は調整可能です。
乾燥仕上げ剤の投入量は、0 から 6 ml の間で設定できます。
3 ml は工場出荷時設定です。

乾燥仕上げ剤の投入量は、プログラムの自動調整機能により、設定値より多くなることがあります。

食器とグラス製品に斑点が付く場合：

- 乾燥仕上げ剤の投入量を増やしてください。

食器とグラス製品に曇りや汚れがある場合：

- 乾燥仕上げ剤の投入量を減らしてください。

Miele@home

本製品にはWiFiモジュールが搭載されています。

食器洗い機をお使いの WiFi ネットワークに接続できます。
この場合、食器洗い機の電源を切っても、電力消費量は増加します。

“設定”および“Miele@home 設定”メニューが、追加メニューオプションとして追加されます。

食器洗い機を設置する場所の WiFiの電波が十分であることを確認してください。

ご自宅の WiFi ネットワークに食器洗い機を接続する方法はいくつかあります：

アプリで接続

Miele@mobile アプリは、Apple App Store® または Google Play™ store から無料でダウンロードできます。

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

■ アプリで接続 メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。

■ アプリの指示に従います。

食器洗い機をご自宅の WiFi ネットワークに接続すると、アプリで以下のような操作が行えます：

- 食器洗い機のリモートコントロール
- 食器洗い機の運転に関する情報の表示
- 食器洗い機のプログラム工程に関する情報の表示
- 他の WiFi 対応のミーレ機器との Miele@home ネットワーク設定

WPSで接続

Miele@mobile アプリ経由でのネットワーク接続の替わりに、食器洗い機を WPS（Wireless Protected Setup）を使用して WiFi ネットワークに接続できます。

WiFi ルーターが WPS 対応である必要があります。

■ WPSボタンを押します メッセージを *OK* で確定します。

■ ルーターの WPS 機能を 2 分以内に有効にします。

■ 接続を確立させたら、メッセージを *OK* で確定します。

接続できない場合、ルーターでの WPS の有効に時間がかかり過ぎている場合があります。上記のステップを繰り返します。

オフ

食器洗い機の WiFi モジュールを使用しない場合は、スイッチをオフにできます。

■ オフ メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。

Miele@home メニューで、メニューオプション オン が、オフ の替わりに表示されます。

オン

食器洗い機を WiFi ネットワークに接続する場合は、WiFi モジュールをオンにできます。

■ オン メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。

Miele@home メニューで、メニューオプション オフ が、オン の替わりに表示されます。

接続ステータスの表示

食器洗い機の現在の接続状態の情報を表示できます。

■ 接続ステータス メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して、WiFi電波の強度、ルーター名、関連 IP アドレスを順に表示できます。

■ *OK* 選択して、メッセージを確定します。

再セットアップ

このメニューオプションは、食器洗い機をWiFi ネットワークに接続済みである場合にのみ表示されます。

アプリで接続

■ アプリで接続 メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。

■ アプリの指示に従います。

WPSで接続

■ WPSで接続 メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。

■ ディスプレイの指示に従います。

リセット

このメニューオプションは、食器洗い機をWiFiネットワークに接続済みである場合にのみ表示されます。

このメニューオプションで、すべてのWiFiモジュール設定を工場出荷時設定にリセットすることが可能です。

ネットワーク設定は、食器洗い機を処分または販売する際、または使用済みの食器洗い機を可動させる時は、必ずリセットする必要があります。これは、すべての個人データを削除し、以前の所有者の食器洗い機へのアクセスを遮断するための唯一の方法です。

■ リセット メニューオプションを選択し、[*OK*] で確定します。

遠隔操作

このメニューオプションは、食器洗い機をWiFi ネットワークに接続済みである場合にのみ表示されます（「設定—Miele@home」を参照）

遠隔操作 オプションを常にオフにしたい場合、このメニューオプションで行うことができます。 センサーコントロールは、この設定を再度変更するまで、選択できなくなります。

遠隔操作 オプションがオフになっていても、Miele@mobile を使用して機器の情報を表示することができます。ただし、そこからプログラムを開始したり、設定を変更することはできません。

リモートアップデート

リモートアップデートのメニューオプションが表示され、Miele@homeの使用要件が満たされている場合にのみ選択できます（「初めてお使いになる前に—Miele@home」を参照）。

リモートアップデート機能は、食器洗い機のソフトウェアを更新するために使用されます。食器洗い機で更新が利用可能な場合は、自動でダウンロードされます。更新は自動ではインストールされません。手動で開始する必要があります。

更新をインストールしない場合は、これまでどおり、食器洗い機を引き続き使用できます。ただし、ミーレは更新のインストールをお勧めします。

有効化/無効化

リモートアップデート機能は、標準で有効化されます。利用可能な更新プログラムは自動でダウンロードされますが、インストールは手動で開始する必要があります。

更新プログラムを自動でダウンロードしない場合は、リモートアップデート機能を無効にします。

リモートアップデートの実行

リモートアップデートの内容と範囲に関する情報は、Miele@mobile アプリをご確認ください。

ソフトウェアの更新が利用可能な場合は、食器洗い機のディスプレイにメッセージが表示されます。

更新プログラムは直ちに/後からインストールが可能です。機器の電源を再び入れると、アップデートについての情報が再び表示されます。

アプデートをインストールしない場合は、リモートアップデートのスイッチをオフにします。

更新には数分かかる場合があります。

リモートアップデート機能に関する次の情報にご注意ください：

- 更新プログラムが利用可能なときのみ、メッセージを受け取ります。
- 更新は、インストールされたら取り消せません。
- 更新中は食器洗い機の電源を切らないでください。電源を切ると、更新は中断され、インストールされません。
- 一部のソフトウェアの更新は、ミーレサービスによってのみ行われます。

SmartStart （国によって使用できない場合があります）

このメニューオプションは、食器洗い機をWiFi ネットワークに接続済みである場合にのみ表示されます（設定—Miele@home」を参照）

電気料金が最も安い時間帯に、自動で食器洗い機を開始するために SmartStart 機能が使用されます。

この機能を使用するには、追加の技術的なアクセサリーが必要になります。

SmartStart 有効 を有効にすると、選択したプログラムのタイマー ⏲ メニューは表示されなくなりますが、EcoStart のかわりに、SmartStart が表示されます。電力会社からシグナルを受信すると、食器洗い機は指定された時間枠内で始動します。
設定された最終開始時間までに電力会社からのシグナルを受信しなかった場合、食器洗い機は自動で開始します。

EcoStart

食器洗い機を最も経済的に稼働させるために、EcoStart オプションを使用して、電力会社のより安価な電気料金を利用できます（「追加機能—タイマー」を参照）。
このオプションを選択すると、食器洗い機は電力会社の電気料金が最も安い時間帯に自動で開始します。

このオプションを使用するには、まず食器洗い機を開始させる最大3つまで電気料金の時間帯を設定する必要があります。これらの時間帯に優先順位を割り当てることができます。電気料金が最も安い時間が優先順位 1 になります。

最も安い電気料金の時間帯を調べるには、電力会社に問い合わせてください。

電気料金の時間を設定したら、EcoStart オプションを使用して、各プログラムで必要な終了時間を設定します。
食器洗い機は、最も安い電気料金の時間帯で自動的に開始します。プログラムは、遅くとも設定した終了時間までに終了します。

電気料金の時間の設定

EcoStart オプションを使用する前に、電気料金の時間帯を最低 1 つ設定してください。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して、電気料金の時間帯 T1-T3 を選択し、*OK* で確定します。

選択された電気料金の時間帯の開始時刻がディスプレイに表示され、「時」が強調して表示されます。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して、開始時間の「時」と「分」を設定し、両方を *OK* で確定します。

選択された電気料金の時間帯の終了時刻がディスプレイに表示され、「時」が強調して表示されます。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して、終了時間の「時」と「分」を設定し、両方を *OK* で確定します。

電気料金の時間帯が保存され、優先順位がディスプレイに表示されます。

■ ∨∧ センサーコントロールを使用して優先順位を設定し、*OK*で確定します。

■ *OK* で、メッセージを確定します。

電気料金の時間帯が有効にされます。

電気料金の時間帯の変更

電気料金の時間帯の開始、終了、優先順位は変更可能です。

- ∨∧ センサーコントロールを使用して、変更する電気料金の時間帯 T1–T3 を選択し、*OK* で確定します。
- 変更したい設定を選択し、*OK* で確定します。
- ∨∧ センサーコントロールを使用して設定を変更し、*OK* で確定します。
- *OK* で、メッセージを確定します。

変更が保存されます。

電気料金の時間帯の削除

電気料金の時間帯の設定は、 EcoStart オプションを無効にすることで削除できます。

- ∨∧ センサーコントロールを使用して、削除したい電気料金の時間帯 T1–T3 を選択し、*OK* で確定します。
- たとえば、T1 削除 を選択して、*OK* で確定します。
- たとえば、T1 削除? を選択して、*OK* で確定します。

選択した電気料金の時間帯の設定はリセットされます。

- *OK* で、メッセージを確定します。

電気料金の時間帯は削除されます。

消費量（エコフィードバック）

選択したプログラムの電力量と水の消費量をディスプレイに表示するかどうかを選択して設定できます。この機能は、プログラム前に推定消費量、プログラム終了時に実際の消費量を表示します。
このメニューでは、今までにこの食器洗い機で実行したすべての洗浄プログラムの電力と水の合計消費量を表示することも可能です（「環境保護のために—エコフィードバック消費量表示」を参照）。

消費量の表示

- 表示 メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。
- ご希望の設定を選択し、*OK* で確定します。

合計消費量の表示

- 合計消費量 メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。
- エネルギー と 水 の数値は、∨∧ センサーコントロールを使用して表示できます。

また、合計消費量を 0 にリセットすることもできます。

- リセット メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。
- はい メニューオプションを選択し、*OK* で確定します。
- *OK* で、メッセージを確定します。

これで、値は 0 にリセットされます。

ディスプレイの明るさ

ディスプレイの明るさは、7 つのレベルのうちのいずれかを設定できます。

音量

ブザーが有効になっている場合、プログラム終了時もしくは故障が発生した場合にブザーが鳴ります。

故障時のアラーム音

故障時には、短い間隔をあけて4回連続で警告ブザーが鳴ります。

故障が発生した時に鳴る警告ブザーは無効にできません。

アラーム音

プログラム終了時には、短い間隔をあけて4回連続で警告ブザーが鳴ります。

プログラム終了時に鳴るブザーの音量は、7 段階のうちのいずれかを選択できます。音量無しを選択すると、ブザーのスイッチがオフになります。

操作音

センサーコントロールが押されるたびに音がします。

キーパッドの音量は、7段階のうちのいずれかに設定できます。音量無しを選択すると、キーパッド音のスイッチがオフになります（⏻ *オン/オフ* センサーコントロールを除く）。

ウェルカムメロディー

食器洗い機の電源を入れたり、切ったりすると、短いメロディが流れます。

メロディはオフにできます。

不足表示

乾燥仕上げ剤が配合された洗剤か、ミーレパワーディスク（利用可能な場合）を使用したAutoDos（オートドス）のみを使用している場合、必要に応じて乾燥仕上げ剤（リンスエイド）の不足表示をオフにできます。

乾燥仕上げ剤が配合された洗剤の使用を停止した場合は、乾燥仕上げ剤（リンスエイド）を必ず使用してください。不足表示メッセージが表示されるように戻します。

オートオープン

一部のプログラムでは、乾燥プロセスの促進のためにドアが自動でわずかに開きます。

必要に応じて、この機能は無効にできます。

⚠ 蒸気による損傷の危険性。
ファンが作動しなくなると、プログラム終了時にドアを開けた時の食器洗い機からの蒸気で、デリケートなカウンターの縁が損傷する恐れがあります。
オートオープン機能を無効にしているが、プログラム終了時にドアを開きたい時は、ドアを完全に開くようにしてください。

洗浄プラス

この機能は、プログラムの洗浄能力を向上させたい時に選択します。

この機能を有効にすると、プログラム時間と本洗いの温度が増加します。水と電力の消費量が増加する可能性があります。

この機能をオンにすると、オフにするまで、すべてのプログラムにこの機能が適用されます。

エクストラドライ

この機能は、プログラムの乾燥性能を向上させたい時に選択します。

この機能を有効にすると、プログラム時間と最終すすぎの温度が増加します。エネルギー消費量が増加する可能性があります。

この機能をオンにすると、オフにするまで、すべてのプログラムにこの機能が適用されます。

ソフトウェアバージョン

技術サポートを目的として、食器洗い機の電子ソフトウェアバージョンを表示できます。

ショールームプログラム

デモ専用です。

食器洗い機には、ショールームで使用するためのデモモードが用意されています。

工場出荷時設定

食器洗い機のすべての設定を工場出荷時設定にリセットすることが可能です。

WiFiモジュール設定 (適用可能な場合) は、別途リセットする必要があります (「設定 – Miele@home」を参照)。

■ リセット を選択し、 [*OK*] で確定します。

愛情点検

長年ご使用の食器洗い機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

●水もれする。（ホース，水槽，給水継手）
●こげくさい臭いがしたり，運転中に異常な音や振動がある。
●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。
●据付が傾いたりグラグラしている。
●その他の異常・故障がある
●スイッチを入れても，動かないときがある。
●タイマーが途中で止まることがある。
●電源コード，プラグが異常に熱い。

▼

●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

コンタクトセンター　固定電話からはフリーダイヤル　0120-310-647
携帯電話・PHSからはナビダイヤル　0570-096-300

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12　オリックス目黒ビル4階

www.miele.co.jp

Miele

G 7314 C SC

ja-JP

M.-Nr. 11 452 200 / 03